鍵姫物語 永久アリス輪舞曲 3
介 Kaishaku 錯
C111-3
発行 メディアワークス

9784840232944

1929979005504

ISBN4-8402-3294-6

C9979 ¥550E

MediaWorks

発行●メディアワークス

定価：本体550円 ※消費税が別に加算されます

雑誌 49056-73

►DENGEKI COMICS

ぷりてぃまにぃず 全3巻	栗橋伸祐
ななな 全4巻	原田将太郎
おねがい☆ティーチャー 全2巻	林家志弦／Please！
おねがい☆ツインズ	あきかん／Please！
はやて×ブレード❶〜❸	林家志弦
BLOOD ALONE❶〜❷	高野真之
超常機動サイレーン❶	井原裕士
こみっくパーティー 全5巻	犬威赤彦
MURDER PRINCESS❶	犬威赤彦
ガンパレード・マーチ 全3巻	さなづらひろゆき／ソニー・コンピュータエンタテインメント
かしまし〜ガール・ミーツ・ガール〜 ❶〜❷	桂遊生丸／あかほりさとる
GUNSLINGER GIRL ❶〜❻	相田 裕
苺ましまろ ❶〜❹	ばらスィー
マブラヴ 全3巻	高雄右京／アージュ
ToHeart Remember my memories	高雄右京／AQUAPLUS・THR Works
マブラヴ・アンリミテッド❶	緋呂河とも／アージュ
よつばと！❶〜❹	あずまきよひこ
蒼穹のファフナー❶	現津みかみ／XEBEC
こはるびより❶	みづきたけひと
真月譚 月姫 ❶〜❸	佐々木少年
鍵姫物語 永久アリス輪舞曲 ❶〜❸	介錯
スターシップ・オペレーターズ 全2巻	内藤隆／水野良
Wind ～a breath of heart～	かぢばあたる
月は東に日は西に ～Operation Sanctuary～	武田みか
うた∞かた	小梅けいと／gimik
lunch box❶	POP&ふくなが
灼眼のシャナ❶	笹倉綾人／高橋弥七郎
キョウハクDOG's❶	しゃあ
ToHeart2❶	御形屋はるか／AQUAPLUS

月刊コミック電撃大王 DAIOH

毎月21日発売

鍵姫物語永久アリス輪舞曲◆介錯

鍵姫物語 永久アリス輪廻ロンド舞曲

CONTENTS

Episode：14　3P

Episode：15　29P

Episode：16　55P

Episode：17　67P

Episode：18　83P

Episode：19　99P

Episode：20　115P

Episode：21　131P

Episode：22　147P

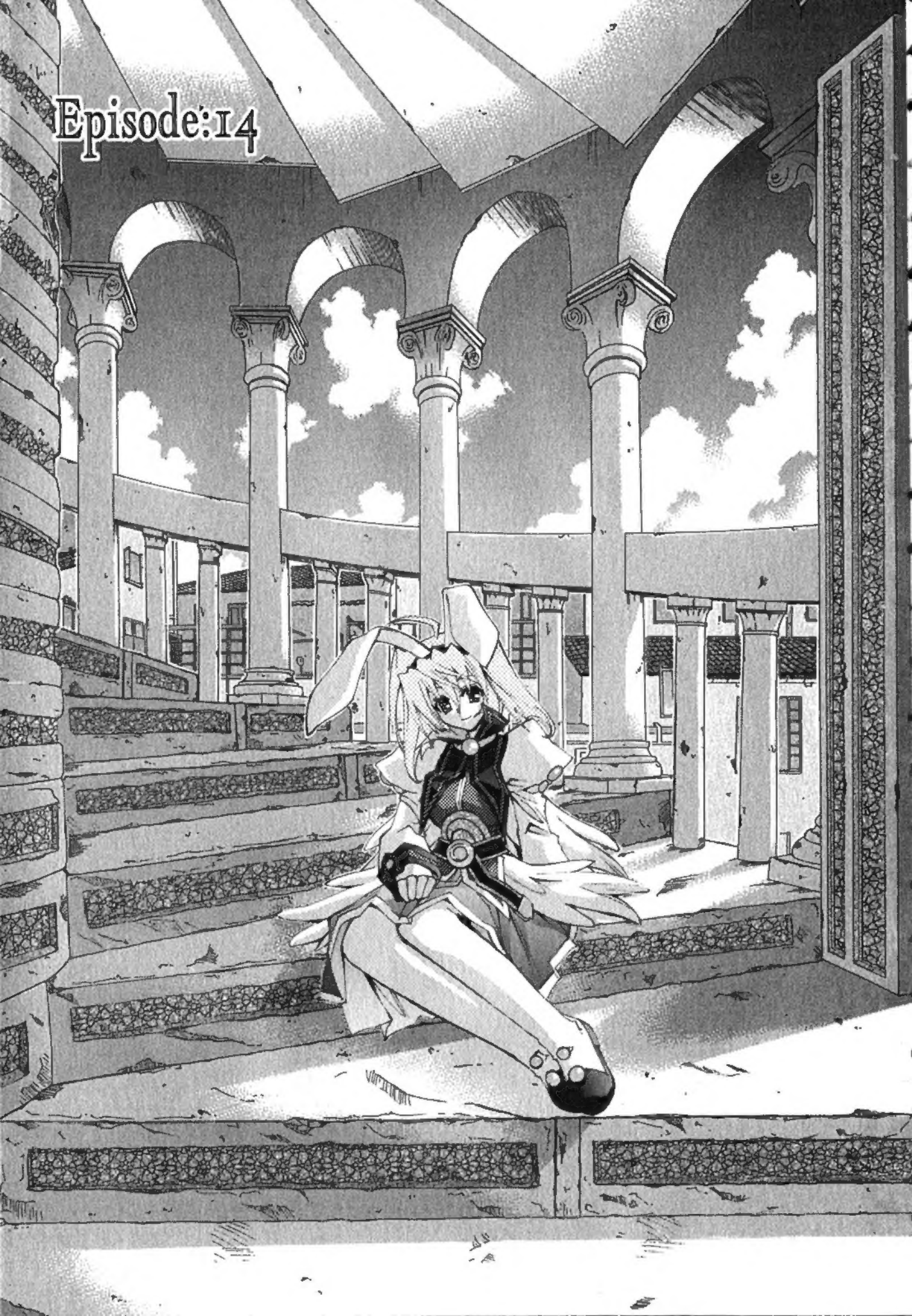
Episode：23　163P

Alice Library　186P

その日――一通の
手紙が届いた
アリスマスターからの
アリスロワイヤルへの
招待状だった――
勝ち残って
いる者達への
装填(そうてん)依頼
――
決まった日時に
鍵を開ければ
アリス図書館への
扉が開く
――
そしてそれは
限られた空間での
バトルロワイヤル
――
事実上の
頂上争奪戦を
意味していた――

願いが叶うという
「終わらないアリスの物語」を
手にするために――

さあ――
心に物語を持つ者達よ――
――扉を開けて――
誇り高き決闘者に
――


Episode:14

雑魚が…
いくら束になって
かかって来たところで
この私に敵うとでも
思ってますの……
ハア――

…とは言え…
だいぶダメージが
残ってるわ……
少し回復しないと…
ヒュ

ハアアアアア…
命の雫よ――

ハアッ
ハアッ
ハアッ

トロ…
——そう簡単に
一休みさせては
もらえませんのね——
にこ…

カッ
カッ
カッ

やはり……
上位の者達は
戦い馴れしてますね……
だいぶ
少なくなって来た
頃合か……

新しい
お話が
読めるの？

もうすぐ…
な
それでも
妹という存在には
ほど遠いが…
——そうだ

どんな物語が
仕上(しあ)ってくるのか
楽しみに
待つとしよう……

負けた者を
つまみ出し
最後の一人だけを
残るように
しようか――
一人にならなければ
私の部屋のドアは開くことは
ないのだから――

貴方(あなた)はここで
実が熟すのを
待つだけ――
ということね……
かわいそうな
人――

――やっぱり
みんなで同じ扉に入って
正解だったわね
この館って
迷路みたい
だからね

でも
何でまた急に
アリスロワイヤル
なんて…
どうせだったら
もっと早くに
やれば……
もう少しで
集まりそうだから
待てなく
なったんじゃ？
……
──って事は
──
遅かれ早かれ
そろそろ
「終わらないアリスの物語」が
読める日は近いってこと!?
わくわくっ
ん
きゃー──っ♡
ぴょ
よ

とうとう
夢にまで見た
三冊目のアリスが
……!!
にぱぁあぁ
行きましょっ!!
にぱぁあぁっ
早くアリスマスターの所へ
行きましょっ!!

まあ
待ちなさい
よく考えても
みて…
もう少しで
集まりそうだってことは
頁を持つ
アリス能力者の
人数が減っているって
ことじゃ
ないかしら?
——ということは
ここから先は
今までを勝ち残って
来た百戦錬磨の
強敵達が相手だって
ことよ…
ねぇ?
そ…そう…
だな……
今まで以上に
慎重に
ならないと…
——
この二人——
アリスの事になると
目の色が変わって
回りが
見えなくなる
ところとか
そっくりだわ
気をつけないと…
わく わく わく
まあ
いざとなったら
……
こっちの妹も
私の言いなりに
止めてくれるでしょ…
きらはちゃんも
そう思うわよね
——う…ん

何だろう…
何か諏訪さんとあった気がするんだけど…
うーん…
何か引っかかるけど――
思い出せない……

でも…
どこまで行っても本棚ですのね
これが本当にあの図書館ですの？
あ
キサちゃん初めてだっけ

前に来た時ここは特別な空間なんだって司書官さんが言ってたよ
あれ以来 何回か来てみたけど玄関のドアが開かなかったわね

不思議の空間の中でもここはとびきり不思議ってことね……
ますます気をつけないと…

とりあえずアリスマスターを捜しましょ
ドアバン
見覚えのある所に出ればいいんだけど――

だから慎重にって言ってるでしょっ!!
ガチャ

助け…て…
何で私がこんな……
ボロ…

!!
消えた…!?
ええ!?
負けると
消えちゃうの!?
じゃあ すぐに
読めないじゃない!!
——なんてことッ

4位の大神ミカと
こんな所で……ッ!!
おず…
——だから
慎重にって
言ったのよ…!!

弱き者は——
強き者の糧になる——

それがこの世界の掟——
真実——
ここで敗れ心を奪われた者は
ここの住人ではなくなる——
当然のこと——

そう…か……
「終わらない
アリスの物語」のことで
頭が一杯になって
うっかりしてたけど…
頁の奪い合いは
心の奪い合いでも
あるんだ――
気軽に
考えるわけには
いかない――

弱き者は
群れたがる
――
これも真実
……
でも
どうして
須羽と
一緒にいる――？

その女は危険な
匂いがする――
信用できない
匂い――
な……!!
ドキ!!
ベッドの中で
声色を真似て
騙し――
待ちかまえて
いるような――
……
ちょっとちょっと
ちょっと!
勝手にいろいろ
言わないでよ

須羽さんは
いい人よ!!
何も知らない
くせに!!
そうだ!!
そりゃあ
最初は敵だった
けど…
今は仲間だ!!
有人君…
お…
それに
弱い人達が
協力し合って
何が悪いって
いうんだ
とこ……!?
……
アリスだって
みんなの
助けが
あったから…
キミキミ
ちょっと落ち着き
たまえよ

ストロ
男……
何…!?
感じが変わった…
来るわっ!!

きゃあああ

きゃあ
まるで竜巻だわ
な何て攻撃力なの…!?
男なんて…
みんな嘘つき……
いなくなれっ！
消えろオオッ!!

醜い子供の夢!!
何てことっ!!
いつかは
上位の連中とは
戦わなくては
ならないけど…
いきなり4位だ
なんてっ…!!
それに
もっと
上手いやり方が
――――!!
せめて…
この技に――
!!
!!
うわぁっ
やはりっ

羽に当たらないと
私の技は――
このクラスになると
そうやすやすと
技にかかっては
くれないわ!!
連係で
何とか
しないとー!!
でも!!
速くて
よくわから
ないよっ!!
う…うゆあ
あああっ!!
――!
何で…
そんなに
男の人を憎むの
……!

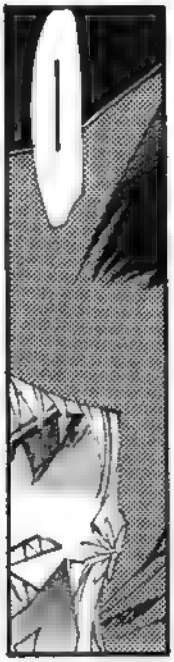
男は
みんな
ひどい奴らだ!!
有栖川さん!!
いい人だって
いるわ!!
男は
みんな
嘘つきだ!!

私を
騙して
ひどいことを
するんだ!!
アオォーン
!!

おじょーちゃん
どこに行くんだい？
おばあちゃんちに
おつかいに
行くの
えらいねぇ
それじゃ
お兄ちゃんが
近道を教えて
あげよう
おいしいかい？
うんっ
お兄ちゃんの
手を離しちゃ
だめだよ
きゃあああああっ
ガウガウガウガウ
このくそ犬っ!!
キャンキャン
やあああああっ
ボワロ～～～っ
クゥーン

おとなしく
いい子にしてれば
すぐすむのによぉっ
そんな犬
はなせっ!!
邪魔だろがっ!!
やあああああっ
やあああああっ
男なんて…
みんな…
噛み千切って
引き裂いてやる

みんながみんな
ひどい人なわけじゃ
ないわ…
ハァ
有栖川さんっ
大丈夫!?


――

そんなはず…

そんなはず
なァアアアイッ!!
有栖川(ありすがわ)っ!!
!!

ア……！

さすがに…
有人君(ありとくん)だけ
狙って来るのが
わかれば
ガチャ
対処の仕様は
あるというものだ

——そうだ——

ポワロを
飼ってもいいって
言ったのは…
パパンだった――
消えちゃった…
頁返そうと
思ってたのに…
おおっ
すごい頁
数だぞ!!
本当だ!!
ええーっ
これ写すの?
まさか……
4位を倒せる
なんて…
ちょっとちょと
ちょっと～～～～
このまま
私の計画上手く
運んじゃうんじゃない
かしら～～～～っ!?

Episode:15

うわっ
有人君
器用…
歩きながら
なんて…
いやあ…
いろんなアイデアが
出てきちゃってさ…
こんな
不思議な
出来事に
あって…
刺激を
受けない方が
どうかしてる……

もーっ
またアリスの
話――？
こんなところでも
書いてるの～？
アリス…って
――ああ…
有栖川君の
ことではなく
君が書いてる
アリスの物語の
話か――
機会があったら
ぜひ読ませてもらいたい
ものだな――
君の
創造力の
賜物とやらを――
そ…そんな
恥ずかしい
ですよ
ちょっとちょっと
あなた達――
今が戦いの
真っ最中だってこと
忘れてないわよね
そんな本の話に
花を咲かせて
ないで
警戒を
怠らないで
ちょうだい

ふむ
そう言われると
ますます気になる
ではないか――
わわっ
探求者に
隠し事をすると
いう行為は
探究心に
火を点ける
という事に
他ならないぞ――
ちょっ…
キリカ先輩っ
ほれ
それを見せろ
隠すほどの物でも
あるまい
先輩ッ
くっつきすぎ
ですよ
恥ずかしくは
ないぞ…
絶対笑ったりは
しない
……

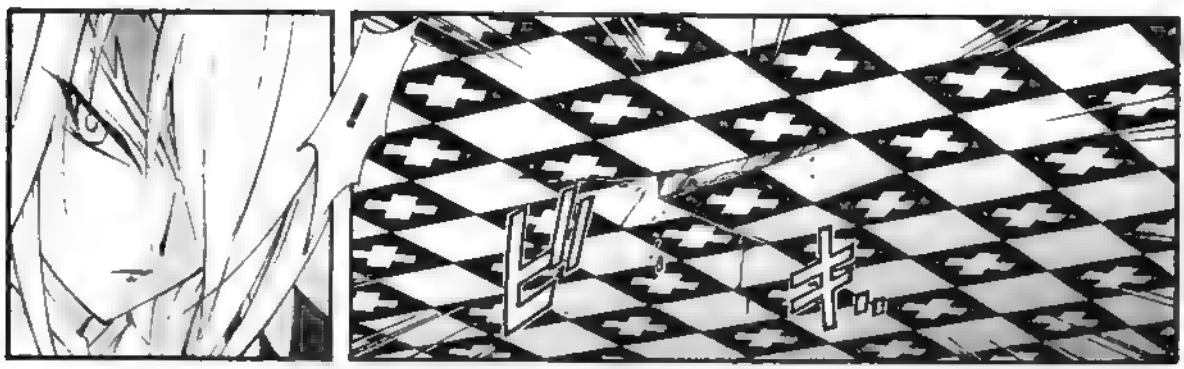
台詞(セリフ)だけ
聞いてると何だか
いかがわしい
感じに聞こえ
ますの…
ポッ
わあああっ!!

ちょっと
お兄ちゃんも
先輩も
くっつきすぎ!!
離れてっ

お兄ちゃんと
くっついて
いいのは
きらはだけなの

ねっ
ねっ…て

有人君の……バカ……
ムー
私の話…
全然聞いてないでしょ…


ピキ…

ガラガラ
わあああっ!!
!?

ドドドドド
ひゃあああっ!!
ガシッ
ギリギリ

ムるムるムる
ふあっ?!
ガクッ
ガクッ
きゃっ
ヨロヨロ
ガッ
ガガッ
……………
にゃあっ
ドデッ
3位のジャクリーンと5位のローリーナ…!!二人で潰し合ってくれれば…
かまわずに逃げるわよ

あれは…
早く
気づかれない
うちにっ
まさか…
ぱた
ぱた
まさか……
ロリーナ…!?
ロ……
バ…!!

乙女の…
はあ、
どこを狙ってますのっ
Toy

棘の檻(クリミネル エピーネ)っ!!

トゲトゲは痛そうだからお断り…ね
やっぱりロリーナだ…
ロリーナ!!
私だ!! キリカだ!!

ロリーナ！
ロリーナ!!

ヒュウ…

そ…んな…
先輩の…知り合いですか——？
そんなことより早く逃げようよ…

彼女は…
死んだはずなのに……
え？

それって……どういう――？
彼女は――
がくがく
彼女なのか――？
あ
ぁあ――
………
いやな思い出がフィードバックされてる――？
それで私の命令を聞かなかったというの――？
ロリーナはランキング5位に実在するわ
あなたの知り合いかどうかは知らないけど――
殺した――
彼女は私が――
あ
あああああああ
ああああああああ
あああああああああ
ああぁ
ロリーナ…

うあああぁ
あああっ!!
ブル
ブル
ブル
先輩!!
しっかりして先輩
騒がしい
わね……
んは…
フク
ランキング
3位――
ジャック
ジャクリーン
第8位の
須羽(すわ)さん――だっけ?
私 言った
わよね
下々(しもじも)の連中も
ちゃんと
躾(しつ)ける――って
忠告に
聞こえなかった
かしら――
フフ…

二人相手なら
逃げるところだけど
手負いの
あなた一人が
相手なら
不足はないわ——

傷が——？

回復能力……!!

……
ふぅ…

手負い——？
命の雫——
何を見てるのかしら——？

まいいわ
ロリーナが
どこかに隠れてて
後ろから襲われる
のも嫌だし…
だいたい
あの子と
相性が
悪いのよね…
躾は
またに
しましょうか——

さがって
いいわよ
ひら
ひら
私…ミカと
合流するから

さがって…って…
なめてるでしょ……

下々の連中が
束になったところで
相手になるわけ
ないでしょ?

どうかしら…?
やってみなきゃ
わからないかも…

何の…
子供だましかしら？
今日のところは見逃してあげるって言ってるのよ？

やはり叩き落とされる…ならば――
そう言って甘く見てるのが命取りになるわよ……
そうそう

さっき倒した大神ミカって人みたいにねっ
今……何て言った……!?
トクン
倒した…？
ミカを…？
あの娘

ミカは私にとって
庭に迷い込んだ
犬みたいな——
ふとしたことから
出会った
妹分みたいな
お人形みたいな
存在だった
ミカ——？
ミカ——
私はただ
ミカ……
ジャクリーン姉さま
……
そんなミカがいれば
それだけで
よかった——
服が汚れるわ
……
でも——
そんな所を掘っても
何も出てこなくてよ
でも
でも
ミカは心に深い深い
傷を負っていた
——

悲しい娘——

私が
守る——

世界という
牙から——

男という
棘から——

だって
私の心はすでに
あなたという
棘に捕えられて

……

いいよ

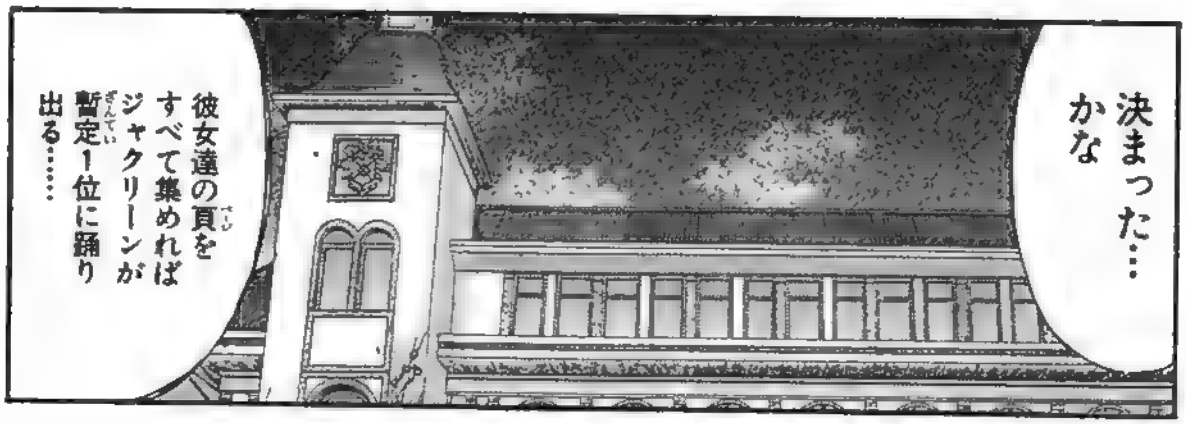
姉さま
なら…

男嫌いな
ミカ——

マシュマロみたいに
やわらかな唇の
ミカ

指先一つ
触れただけで
その高鳴りが
抑えられない
——

透き通る白肌を
持つ ミカ――
その身に心に
二面性を持つ ミカ
発育途中なのに
驚くほど敏感な
ミカ――
私達二人は
似ている
――だから
一緒に行くと決めた
――
ジャック・
ジャクリーンの
名にかけて
二人の願いを
叶えるために――
叶わぬ願いを
叶えるために
その身が落ちて
しまわぬよう
気高く
高く――
ミカと
一緒に――
ミカを守るのは
私なのに――
ミカを泣かせて
いいのは
私だけなのに
ミカを傷つけて
いいのは
私だけなのに
なのにッ
貴女達……
許さなくてよ
……！


決まった…
かな
彼女達の頁をすべて集めればジャクリーンが暫定1位に踊り出る……

もう少し有人君達にはがんばってもらいたかったものだが……
悲しいことだ――
多人数戦をもオールマイティにこなすジャクリーンでは相手が悪かったか…

彼には光るものがあったのだが……
いつからだろう――
この人が物語を書かなくなったのは――
「終わらない『アリスの物語』を求めるあまり」――
様々な少女達の物語を綴るようになってしまったのは――

悲しみや憎しみ――

感動や喜び――

恋心や憧れ――

希望や絶望――

純粋で傷つきやすい
少女達の心の秘め事――

様々な感情や想いは
美しく それだけで
物語足り得るほど

ALICE

永久の娯楽――
永久の物語――

永久のアリスの物語――
悲しいアリスの物語

――でも…

一番
悲しいのは――

貴殿(あなた)

ばかなっ
……
全員一度に
だなんて…
負ける――？
私が――!?
く…
私が――!?
いやよっ！
いやっ!!
負けたく
ないッ!!
ひッ
私の負けなんて
ありえないッ!!
ミカの敵…
許さなくてと
言ったはずよ
……
だって
最後に笑うのは
私ッ
私の願いが
叶えられる
べきっ!!!
べきだわ
っ!!
そうでしょ
っ!!
だって……

！
そこに
もう一人っ!!
なっ!?

アリスが燃えるのが……
うっとり…
やっぱり一番綺麗…

な…なにが起こったんだ……？
覚えてますか…
オオオオ
パチ パチ パチ パチ

これは…
アカネ…か…
——助かった……
他の連中は——
いや……
何人で組んでも
勝てない 奴らには
勝てない……
これ以上
組むべきか
どうか……
あれは…
桐原有人（きりはらあると）の
本……
確か これに…
物語を書いたり
写したり
しているん
だったわね…
……！
これは……!!

Episode:16

10歳の春――
両親の死亡により
私は7年余を
過ごした
穴蔵から
解放された――
英才教育を
押し付けていた
両親の事故死――
不思議と
悲しくはなかった
――
人として
悲しむ時であろうと
いう事は
理解できていたのだが
穴蔵で勉強だけを
していた私に――
自然と溢れて来る涙は
存在しなかった――
とてもとても
眩しかった空、
世界がこんなにも
眩しかった
なんて――
悲しいとか
どうとかいう
以前に――
眩しかった
のだ――
勉強では
わからなかった事だ――
私は――
自由
なのだ

一人での生活は
不安だったが

「ペンは剣よりも強し」
とはよく言ったもので

成績が優秀なら
奨学金によって
生活ができる――

私は迷わず
学校に入り
飛び級で大学生に
なった――

学校なら――
友達や――

仲間――

親友というものが
できると
信じていたから
――

――だがそれは
この世界のルールに
慣れていない私の
怠慢(たいまん)だった

年上の同級生や
教師達からは
煙たがられ――

同じ年の下級生達は
遠まきに見て
近づいて来ない――

それもそうだ
——
勉強に
関わる話しか
できない私は……
相手を成績で
蹴落とす事しか
教えられなかった
私は——
愛想笑いの
一つもできないし
面白い事の
一つも言えない

これでは
——
相手が
楽しい
はずもない
——
——だが

その事すら
気づかせてくれる
友人もいない私は——
その事すらもわからない
私は——自分に
不足している物に
気づかずにいた——
——だから……
広い広い外の世界でも
穴蔵の勉強室と
同じように一人——
一人の世界にいた

一人の世界――
それは
鍵を開けて
自分だけの世界に入る
事――
誰もいない
不思議な
世界――
まるで
絵物語の
中でしか
ありえない
ような世界――
閉じ込められて
一人で育った私だけが
持ってる力――
外への空想を廻らせ
続けた私だけが
持ちうる
現実逃避の鍵――
私は一人――
私に似つかわしい
力――
ははは…
ははは…
一人だけの力――
あはははははは

一人かしら
――？
天才さん？
その
出会いは
突然だった
え…あ…
ああ…
突然すぎて
現実味を帯びない
ほど――
彼女の名は
ロリーナ…
貴女(あなた)を――
いつも見ていたわ
見ていた？
ロリーナ・リリーナという
同じ年の――
年の割には幼い面影を残した
女の子…
あっちの
世界で――
あっち？

彼女も
鍵を持ち――

不思議な
世界への扉を
開く事が
できた――

年も学力も関係ない――

私達二人だけの世界――

二人だけの秘密――

秘密を共有することによって
人は親しくなれる事を
知った――

二人だけの力――

彼女は
私の知らない事を
たくさん教えて
くれた――

私を取り巻く
世界の刻(とき)は――
やっと廻(めぐ)り始めた
のだ――

不思議な世界に
入れる人達が
私達以外にも
いる事――そして

戦い合っている
者達がいる事を
知ると

この力について
この世界について
研究してみようと
いう気になった

この力は
彼女との
結びつきを作った
大切な――
素晴らしい
力だから

私達は
どちらの世界でも
会うようになっていた

そして 私は

私の中で

彼女の存在が…
大切な者として
どんどん大きくなっていくのを
感じていた――

ある日の
ほんのいたずら
心だった

うかれて
いたのだ

初めての
友達との
かくれんぼに
――

隠れてる
場所がわかると
ただ当てる
だけでは
面白くないと
感じたのだ
私はそっと
彼女の入ってる
棺の鍵を閉め
自らもその横の
棺に隠れた――
棺が開かずに
慌てるところを
すぐ側で
観察しようという
寸法だ――
二人でお揃いの
棺に入っている事すら
楽しくて
私にはその時
それがひどく
面白い事のように
思えた
だが
私は
棺の中で
寝てしまって
――
おいおい
お嬢ちゃん
何て所で
遊んでるんだい
……
気がつくと――
ロリーナの入った棺が
なくなっていた

うわあああああ
ああ
ロリー
ナァァアアァ!!
なッ
近づいたら
危ないぞ
何だ何だ!?
何でも
子供が
焼いちまった
棺桶(かんおけ)の中に
隠れてたって…
何イ!?

私の目の奥は熱くなり――

私は――

涙とは…

溢れ出て来るものだと知った――

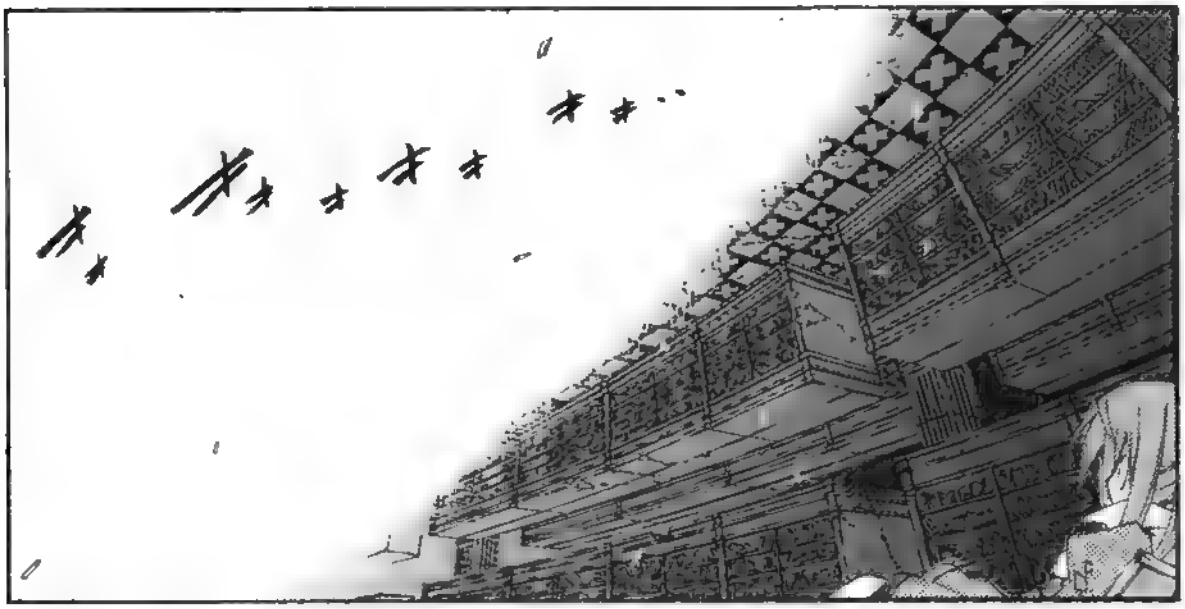
灰の中から骨が発見された事もあり

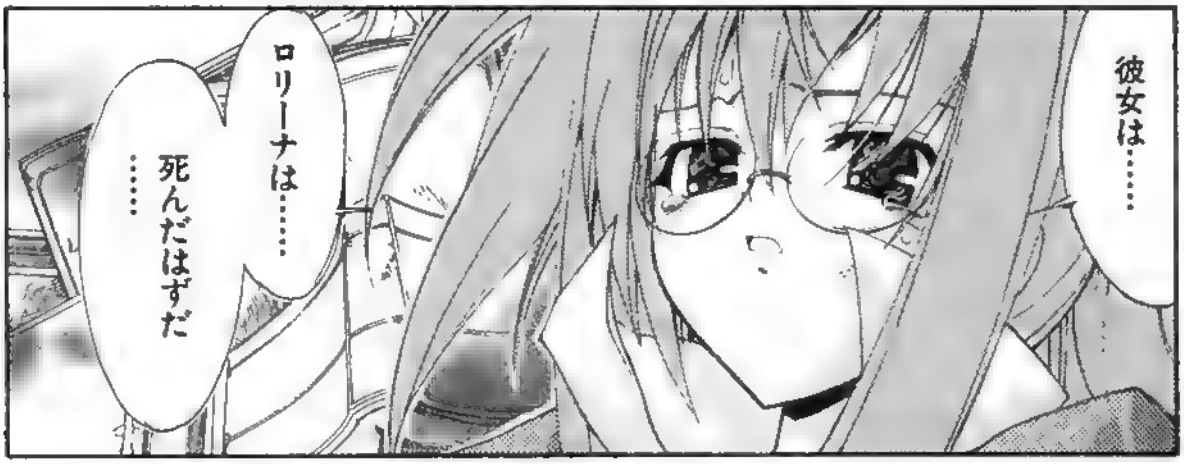
この事件はちょっとしたニュースとなり……

私は今の学校へと留学する事になる――

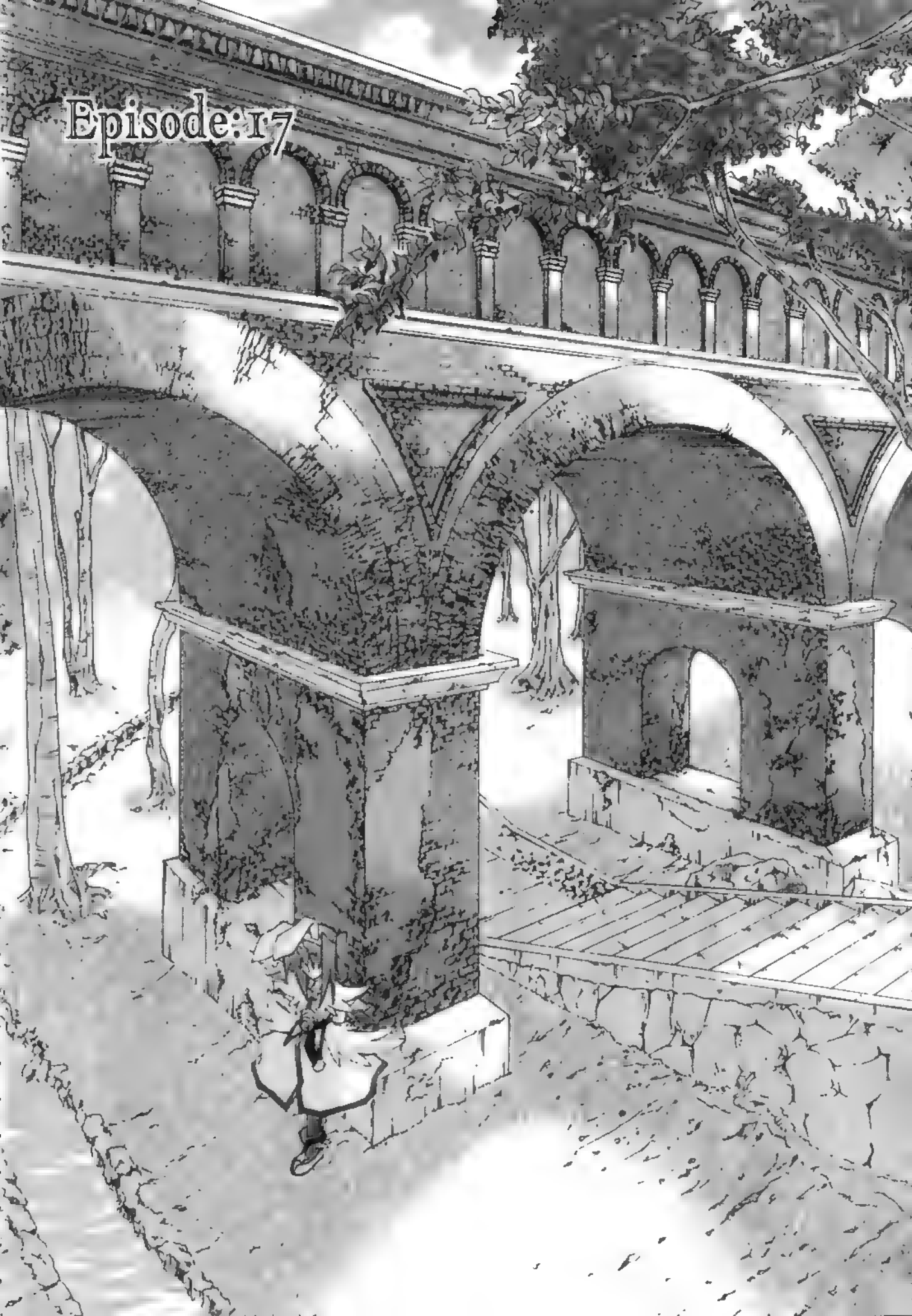
もちろん研究は続けている――だが

それ以来――なぜか幼い姿に変身するようになってしまった

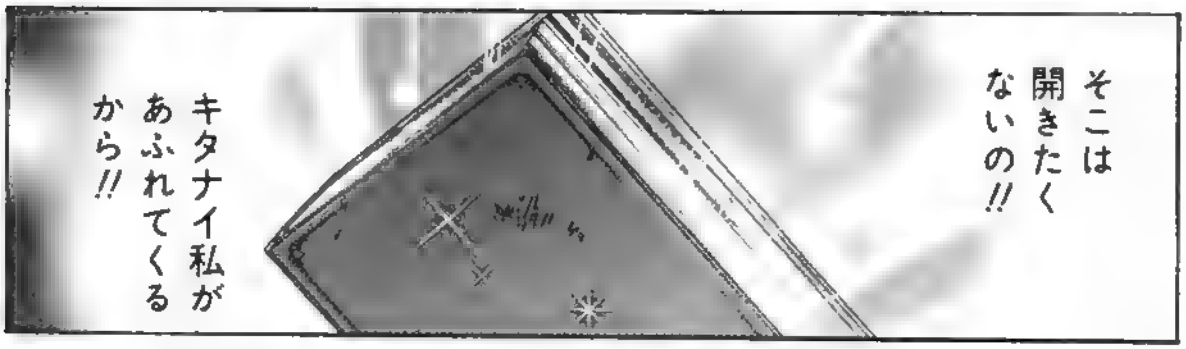


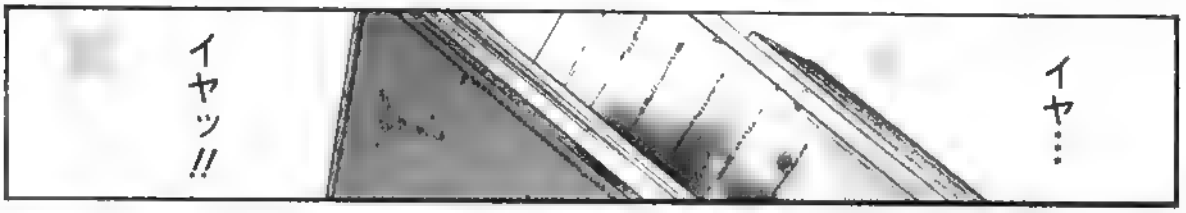

彼女は……
ロリーナは……
死んだはずだ
……

私が…
私が
殺した…


Episode:17

ダメ!!


そこは
開きたく
ないの!!
キタナイ私が
あふれてくる
から!!


イヤ…
イヤッ!!

ほら…
どろどろ
どろどろ
どろどろした
ワタシノココロ

抑えきれない
私のココロ
お兄たんが
ほちい!!
ほちい
きっかけは
何だったっけ?
ほちい
ほちい!!

何であれどんなことであれ
願いは叶うと
思ってた――
信じて疑わなかった

だって
わたしはお姫様

かみたま
おねがいっ

パパとママのいる
この世界で
すべての愛情を注がれる
唯一無二の存在

あたりまえのこと

幼すぎて
何もわからない
私のもとに
ほーら
きらは
あたかも
あたりまえのように
それは舞い降りた
きらはの
お兄ちゃん
有人君(あると)だ
初めからそうであったかのように――
きらはの
お兄たん

おにーたん
きらはの
おにーたんっ♡
二人とも
仲良く
するんだぞ
うんっ
あそぼっ!!
あそぼっ!!
あ……

あ
コラ
コラ
仲良くしないと
ダメじゃないか
この本はね
有人君にとって
大事な大事な物
なんだよ
形見なんだ
きらはも
大切にしないと
いけない
有人君も
お兄ちゃんなんだから
妹をいじめちゃ
いけないよ
さ 二人とも
ごめんなさい
は？
ごめんなさい
ごめんなさい
でも
せっかくお兄ちゃんが
できたのに
あそぼー
よー
楽しく
ないよー
お兄ちゃんは
いつも本ばっかり
ボクは
楽しいよ

じゃあ じゃあ
お話
読んできかせてよ
……うん
いいよ…
アリスの
お話は
不思議な
お話
アリスという
女の子が
大冒険
ドキドキ
ワクワクして
面白い
ありすの
お話は
この二つしか
ないんだ
でもね
もっと…
もっと
お話ないのっ？
何度読んでも
面白いんだよっ
本当に？

お兄たん
大好きな
お兄たん
お話好きな
やさしい
きらはのお兄たん
お兄たん…
大好きだよっ…
本当の
兄妹みたいに
仲良くなって
よかったわ…
きらはも
まだ幼い…
初めから
兄がいたと
思うさ
でもでも
だんだん
思ってきたの
私とその本…
どっちが大切
なの？
きらはとありす
どっちが大切
なの？

きっと
きらはの
はず…
ううん…
きらはに
決まってる…!!
これで——
これで
きらはのことだけ
見てくれる——
えっ!?

お兄たんの本
窓から
落としちゃったの
……
ごめんなたい
あっ
お兄たんっ
キョロ
キョロ
キョロ
これで――
お兄たんを
独り占めできる
――
お兄たん…
ごめんなさい…

お兄ちゃんが泣くと私も悲しい…ってことはお兄ちゃんが大切な物は…私も大切なのに

うわぁぁぁん
おにーたんは
一人じゃないよっ！
きらはがいるっ
きらはがありすに
なるっ！
きらはが
ずーっとお兄たんと
一緒にいるよっ!!

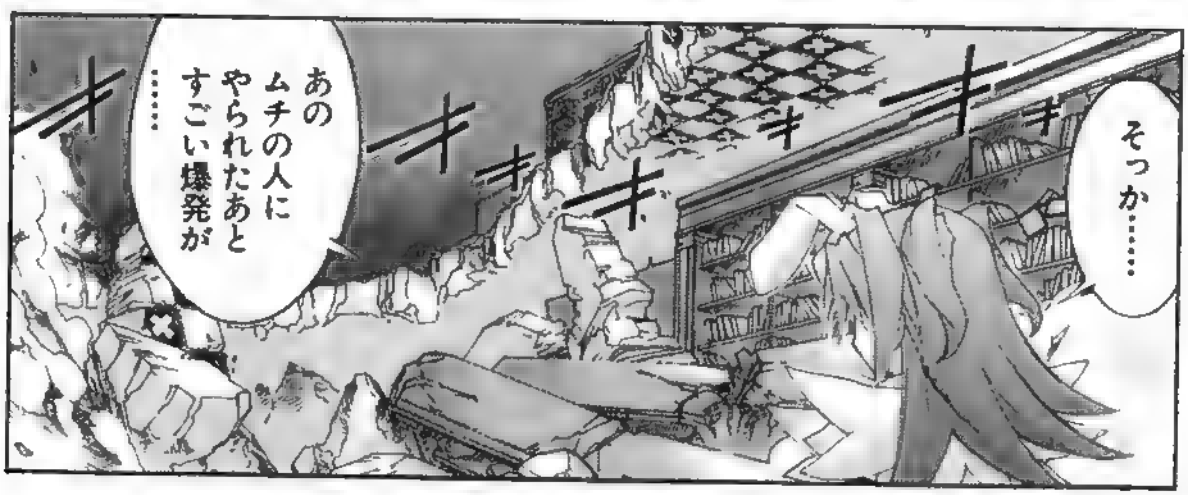
ばかだから
だからっ
ぼろ
ぼろ
ぼろ
だからっ
そんなことにも
気づかない私

またお話
聞かせて…
そんなに
泣かないで…
ぎゅううう
お願い…
…そっか…
きらは…
ないなら…
自分で
作ればいいんだ
……
そして――

！

キョロ

キョロ
……


そっか……
あのムチの人にやられたあとすごい爆発が……

お兄ちゃん
大丈夫かな…
ありすちゃん
ありすちゃんッ
ん……
有(ある)…人(と)…君…
……

どろどろ
どろどろ
どろどろと
あふれだしたのは――
ガバ
私の――
独占欲
ギュウ

Episode:18

きらはちゃん
手伝いますの

あ……
きらはちゃんが
手を汚すことは
ありませんの
ききには
きらはちゃんの
ことは全部
わかりますの
きらはちゃんの願いは
ききの願いですの
きらはちゃんの望みは
ききの望みですの
きらはちゃんの
苦しみはは
ききの苦しみですの
ありすちゃんが
邪魔なの
ですの
う…ッ

えっ!?
グッ
グッ
グッ
え?
ええっ!?

ちょっと
きさちゃん
なにしてるのっ!?
きゃっ!?

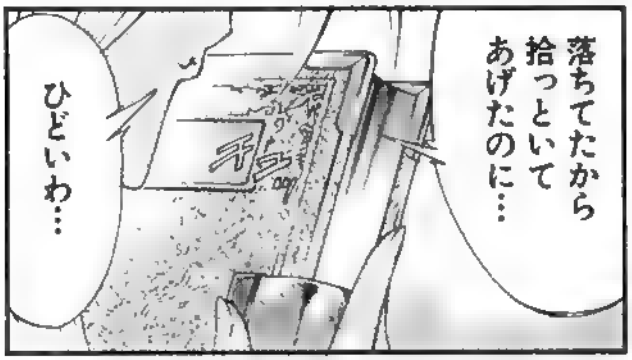
大丈夫?
ありすちゃん!!
ユサ ユサ
きさちゃん
なんてことするの!?
くはっ
は――ッ
な…に?

……
あ…痛っ
ひねったかな？
いてて…
みんな大丈夫かなぁ…
くじいてしまったのかしら……？
！

有人君…
あ…須羽さん…
他のみんなは……？
知らないわ
ちりぢりになってしまったのね
あ…それ……!!
ん…？
これのこと…？

それ…返して
くださいっ!!

あいたたたっ
ズキイィ
ほら……
ムチャは
しない……


落ちてたから
拾っといて
あげたのに…
ひどいわ…

ああ…すみません…
たっこり…

ス
ア
あ

これ…
あなたの書いた
お話が載ってるの
よね……

もしかして……
読んだんですか…？

は…恥ずかしいです……
それ
それ
できたら…その……

読ませてと言ったらどうするの？
これ…読ませてくれる？

わざわざ書いてるのに？
これは日記じゃないでしょ？
自分の気持ちを綴った秘密の小箱だとでも？

いや…でも…
絶対に…って
わけじゃ
ないんです…
その…
わし
わし
自分の話に
自信がない…
ってわけじゃ
ないわよね
絶対に
見せたくない
わけじゃない…
いいえ
むしろ見て…
読んでほしいはず…
そして
いい感想を聴きたい
はずよ……
……！
でも 見せたがるのも
カッコ悪いし……
それで悪いこと
言われるのは
もっとカッコ悪い…
どうしてもって
いうから見せる…
そうありたい……
じらしたうえで
何気なく
見せたい…
ナデ..
その方が
安心……
自分への
言い訳が立つ…
な…なんで
そんなこと
言うんですか…!!
そんなこと
わかるわけ…

わかるわよ……
私の仕事
小説家だもの

ええっ!?
須羽(すわ)さんが!?
す…すごいっ!!

とはいっても
売れてない
誰も知らないような
作家だけどね
すごいですよ
作家だなんて!!
あこがれ
ちゃいます!!
もっとはやく
教えてくれれば
いいのに……
なんてP.N(ペンネーム)で
書いてるんですか!?
もっとはやくに
知ってたら……
まっすぐな
目――

もっとはやくに知ってたら
有人君と私の関係は
変わっていたのかしら？
私も
そんな時代が
あった…
ね
そりゃあ…
この世界の先輩からの
アドバイスを
受けたり…
いろいろ
教えてもらいたいことも
ありますよ
僕なんて
ただ好きで書いてる
だけだし……
なんだって勉強
したいか……

そう…

それじゃあ…
あっ
とっ
この世界の
先輩として
アドバイス
……
と
しゃ
教えて
あげるわ…

!?
なな…
な…ッ
ズキッ
!
んむっ
ちょっ
舌…ッ
あッ
んは
く…苦…
んッ
ん…
んんっ

ちょっ

な…
なにを
するん
ですかっ!!
こんなッ
急につ!?

!

あなたに
不足している
モノは
……
現実の
世界…

この世界のしくみ…
ギュ…
男と女の関係――
私達が裏側と呼ぶ表側――
それを知った上で考えるのと…知らないで考えるのとではちがうと思わない？
チラ。
さまざまな経験を積んで多角的に物事を見れた方が表現の幅が増えると思わない？
自分の感じたことを素直に表現するのが――思うがままに書くのがいいんじゃないですか…？
それは詩人ね…
詩人は自分のために書けばいい……
でも物語はちがう…
私も昔は思いちがいをしてたわ…
だからわかる――

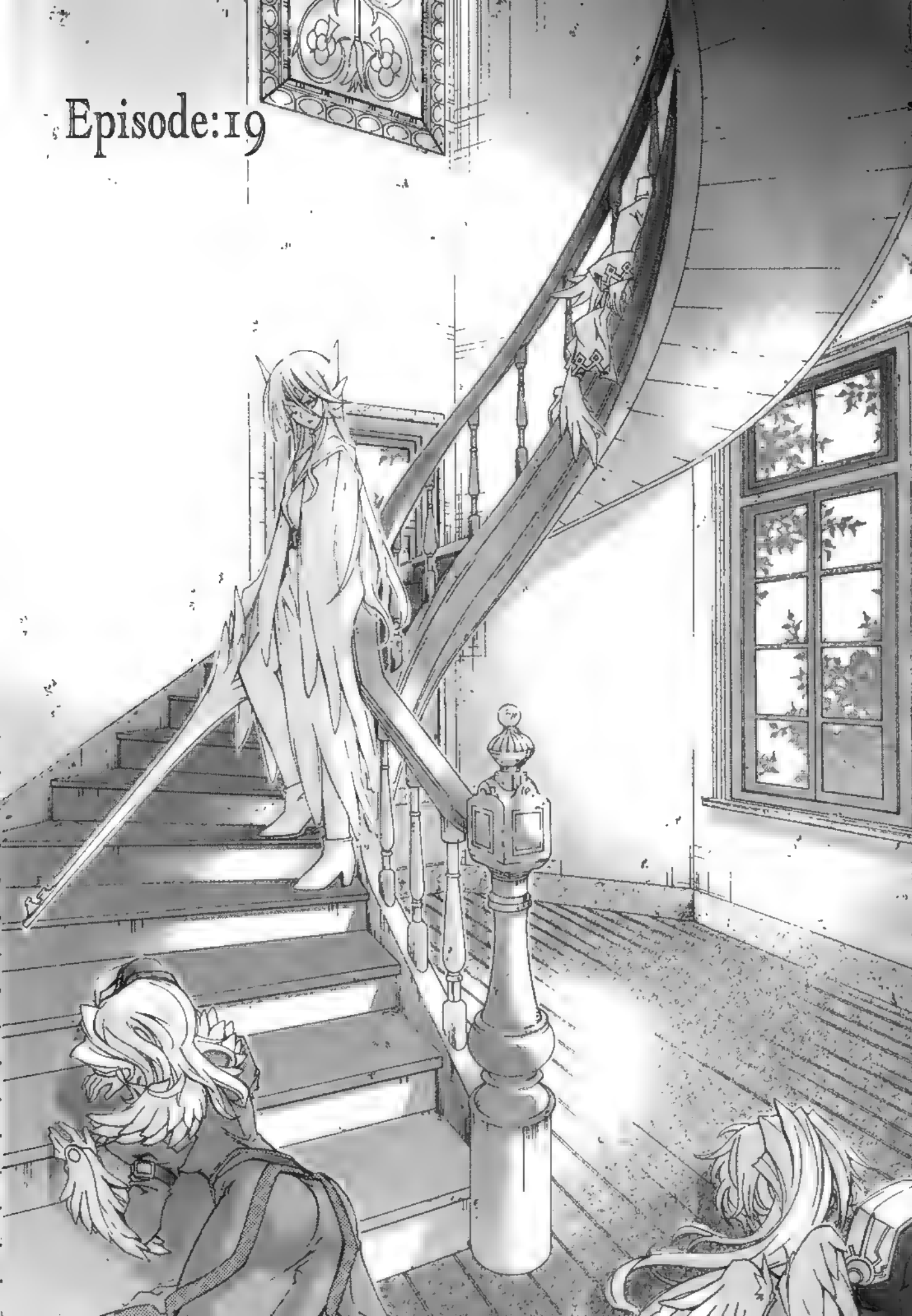
でも安心して……
知らないことは無知という罪だけど
この出会いはそれを補正するための出会い…

有栖川さんともきらはちゃんとも――
今みたいな大人のキスもしたことがないんでしょ――
そ…そんなことッ

本の文章でわかるわ――
ほら…今すごくドキドキしてる――
でもね…それは恥ずかしいことじゃないのよ

誰しもはじめはそうなのだから――
私しか教えられないことを教えてあげる……あなたを導く伝導師になってあげる――
私にすべてまかせればいいの…カンタンなことよ…

そ…そんな…
カあああっ
そんなものなんですか…？
ドッドッドッドッ
この子の書く話…二次創作だからってバカにしてたけど
そう……
その域を越えているわ天才かもしれない…
だとしたら…
みんなが通る道よ……
それも利用するまで……


Episode:19

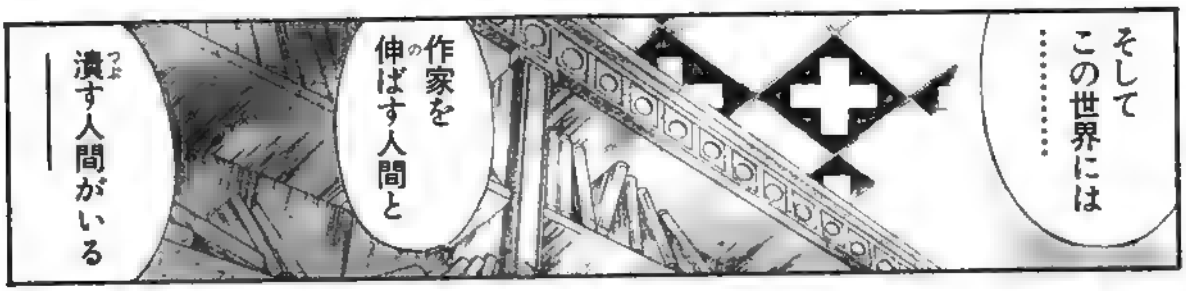
う…あ

どうかしら？
有人(あると)君…
それとも想像すら
したことがなかったかしら？
想像と
ちがう――？
想像のドキドキと
実際のドキドキは
どうちがうかしら？

たとえば
これが
みんなが隠したがる
世界の裏側――
男と
女――
友人…
恋人…
夫婦――
愛人――
あなたの
アリスはきっと
こんなことは
しないでしょ…
でも
それでいい――
そうであることが
重要よ……
有栖川さんを
モチーフに書いた彼女が
こんなことするはず
ないものね…

有栖川さんを
モチーフに…？
でも 世界は
これで廻っている
――――
これで始まり
これを目的として
これで終わることが
たくさんあるのよ…
私と有人君は
これで始まる
――――
あなたを
伸ばすために
これから
始まるのよ――――
須羽さんと
ボクが……
そっ？
たとえば――
この隠された
闇を知ってなお――
「アリスは
こんなことを
しない」と
考えるのか
「アリスは
こんなことは
知らない」と
考えるのかで
物語の幅が
広がるわね……
キスも
そうよ――
チュ
フレンチ…
チュュ
ディープ…
ん
んん…
んっ

意味合いがちがうこと…
わかるかしら――？


そしてこの世界には……
作家を伸ばす人間と
潰す人間がいる――

気をつけなければいけない――
そうだな……
良い意味であれ悪い意味であれ物語に影響を及ぼす人間はいる――
そしてこの場合須羽君はどうなるのかね…
そう
私みたいにならないように――

こんな物語を
書けたら
どんなに幸せ
なのだろって思って

ひとつひとつの言葉に
大切なものを詰め込んだら
魔法のように
物語が動き出す——

私ってば
天才かもしれない…

これをお仕事にできたら
なんて すてきなことかしら

……
ズズ
あ…あの
ダメっ!!
自分から聞くなんて…
まだ読み終わってるか
どうかも
わからないのに…
それに……
つまらないって
言われたら
どうしよう…
ばかだ
私……
来るんじゃ
なかった…
立ち直れない
かも……
時間が…長い
ハァ
ヒック

カチ
スパッ
スパッ
全部……
読んでない
……
アスカさんって
言ったっけ
率直に
言わせて
もらうよ
ダメだな
よ……
読んでないのに——

なんていうのかな——
面白くない
ちらっ
自分のために書いてあるだけじゃないのかな
だが——
光るものはある
編集長に頼み込んで
俺がなんとかしてやってもいいんだが…
うーん
ほ 本当ですか?
ただな…今後のことを考えると方向性を少し変えた方がいいかもしれない
そ…そうですか…
君は運がいいよあたったのが俺で
最近の編集者は売れている作家しか相手にしないのも多いからね
は…はい…がんばります
なぁに編集と作家は一緒に作品を作るパートナーだからな
俺をガンガン利用してくれよ
じゃあ親睦を深めるためにメシでも食いに行こうか
い…いいんですか
なぁに どうせ経費だよ

はじめてだったとは
知らなくてね…
すまなかった
後悔してるかい？
……
してないと言えば
嘘になる——
でもね
何事も経験だ
君の文は
夢見がちな
だけだからね
——でも
いろんな経験を
しないと
たしかに
そのとおりに
思えた
私は
この世界の中の
ほとんどのことを
知らない——
男性経験どころか
彼氏もいなかった
のだから——
今は——
この人を信じる
それしか
ないのだから
——
がんばります
……
フイ…
そして——
その物語で
私はデビュー作を果たした
DRI

私は喜びで有頂天だったが

実際は世界が変わったわけでもなんでもなかった——

言われたものを書き——

読んでもらって

また書く——

なにか違うんだよな——

どうしたら……

それを考えるのが君の仕事

私が書く私の物語——

おれ船明先生好きなんでそんな感じのヤツ書いてほしいな

だけど それらは

私の物語ではない——

色あせていく私の物語——

私が書きたかった物語は

こんなものだったかしら——？

ん——

こんなところかな……

これから——時間あるよね

そして当然のように繰り返される行為は

利用し合ってるだけなのでは——？

——ええ…

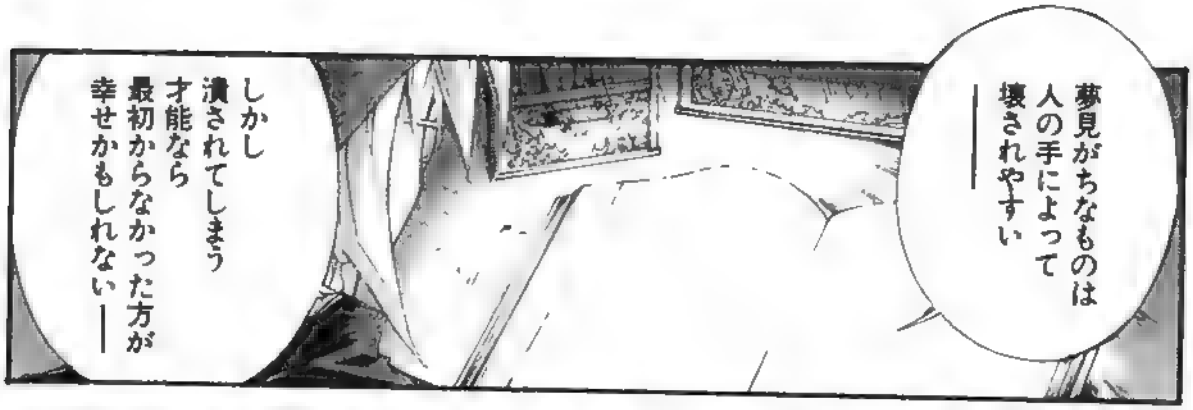
でも、そんなことは考えたくなかった——

だけど……
一通の手紙が
私の心を
粉々に
砕いた……
デビューの時から
ファンですが
最近の先生の作品は――
今…自分で
読み返してみても
わかる――
昔の方が純粋で
情熱にあふれていて
光り輝いていた
――
でも――
今となっては
その書き方が
――
わからない
変わったのは
私――
悩みすり減った
私――

失ってしまった
私の才能……
羽を失った蝶は
地面を這いずり回る
だけ……
だったら
もう一度はばたく
ために
なんだって利用する
人だろうと——
編集長…
相談が
あるんですが…
自分だろうと…
これもある意味
私の才能なのだから
あなた今度
二冊同時発刊
だなんて
すごいじゃない
——
アスカ…
あなたまさか
——！
なんでも
ないわ…

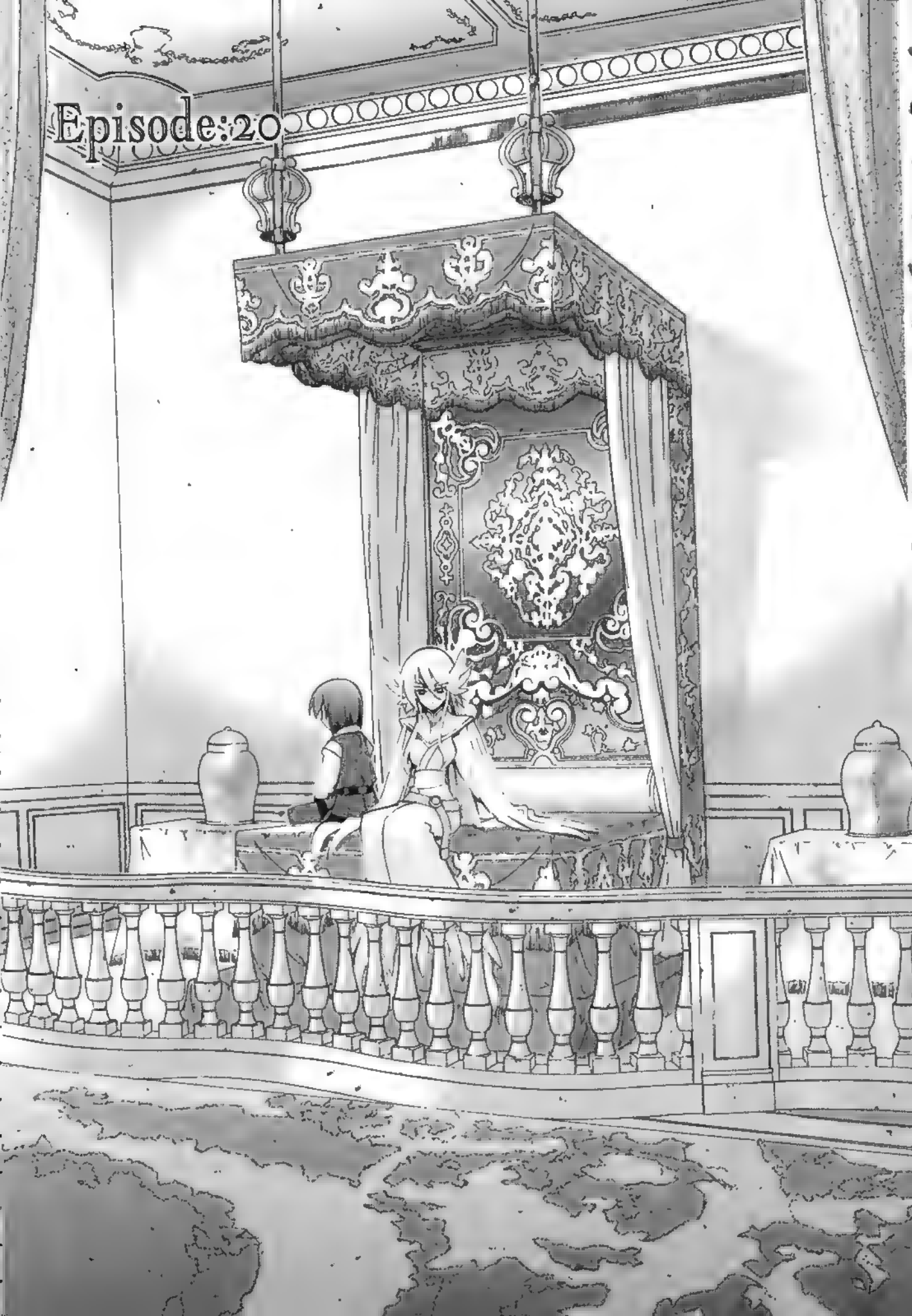
これも……
利用してやる…
この世は
利用する者と
される者に
わかれて
いるのだから
今はまだ
羽を広げぬ
蝶であろうと
一度ひらいて
美しいことさえ
知らしめることが
できたなら——
そのためには——
どんなことも
厭わない——
今度は私が利用する
番なのだから——

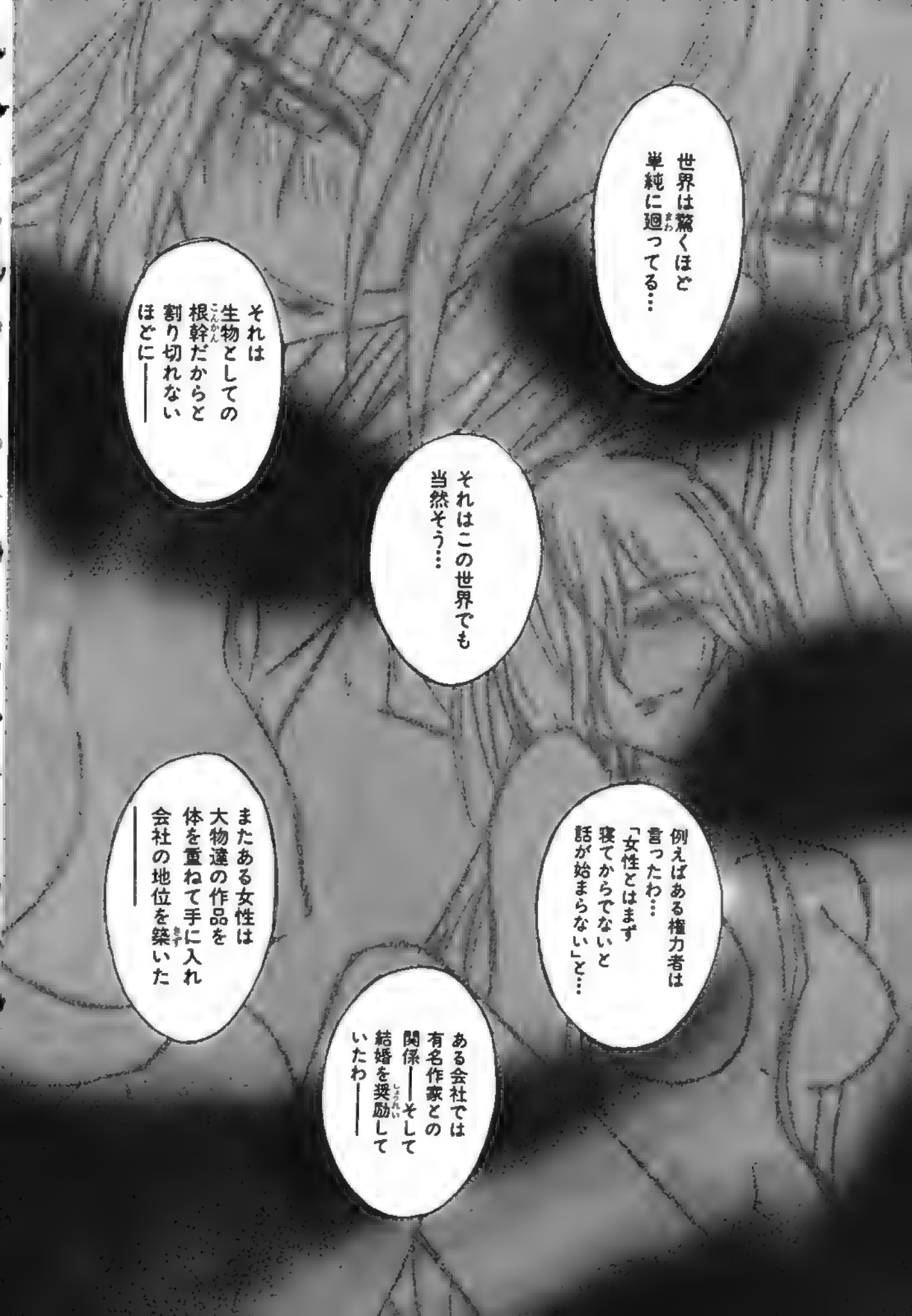
あなたは羽――
ばく
ばく
私の羽――
伸ばしてあげる
導いてあげる
教えてあげる
現実の闇にとらわれてしまった
私に成り代わって
私のために
その美しい羽をはばたく日まで
そのためには――
私のようには
させない――
たしかに
才能とは
人に潰され
やすいものだ――


夢見がちなものは
人の手によって
壊されやすい
——
しかし
潰されてしまう
才能なら
最初からなかった方が
幸せかもしれない——

だが
本当の才能とは
それを越えることすら
可能なのだ——

真に選ばれた者は——
架空(かくう)の物語や
人物を
現実として
紡(つむ)ぐことができますしね


Episode:20


世界は驚くほど
単純に廻ってる…
それは
生物としての
根幹だからと
割り切れない
ほどに――
それはこの世界でも
当然そう…
例えばある権力者は
言ったわ…
「女性とはまず
寝てからでないと
話が始まらない」と…
またある女性は
大物達の作品を
体を重ねて手に入れ
会社の地位を築いた
――
ある会社では
有名作家との
関係――そして
結婚を奨励して
いたわ――

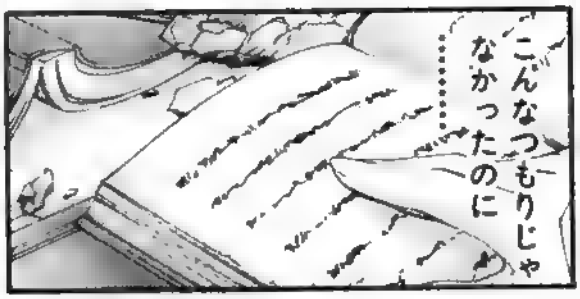
ある者は
デビューと引き換えに
関係を持たざるを
得なかった——
ある者は
強力な後押しと
引き換えに
結婚を要求された——
ある者は
権力者との関係を
断わったために
そこでの仕事が
なくなった——
ある賞では
受賞の選考後
関係を強要
された——
どこにでもある
単純な欲望
それは
どこにでもあるだけに
深く関わって
くる——
そう…この世界は
実力だけではない——
社会の根幹に
位置する
もう一つの力が
渦まいている——

シ・ヨックです
僕
桐原有人(きりはらある)は
正直ショックです
それど言うのも
プル
プル
世界を
知ってしまった
から——
僕が知らなかった
裏の世界——

嫌だったわけじゃないんです
そんなの須羽さんに失礼だし…

だだ——
何だかとても悪い事を知ってしまったような——
有栖川さんやきらはに顔を合わせるのがなんか変な感じで——
それでも——

須羽さんは作家として僕よりもたくさんの経験をしてるわけで——
そんな須羽さんが教えてくれる事は教わっておいた方がいいとは思うんだけど——


こんなつもりじゃなかったのに……

……
どうしてこんなことになっちゃったんだろう——

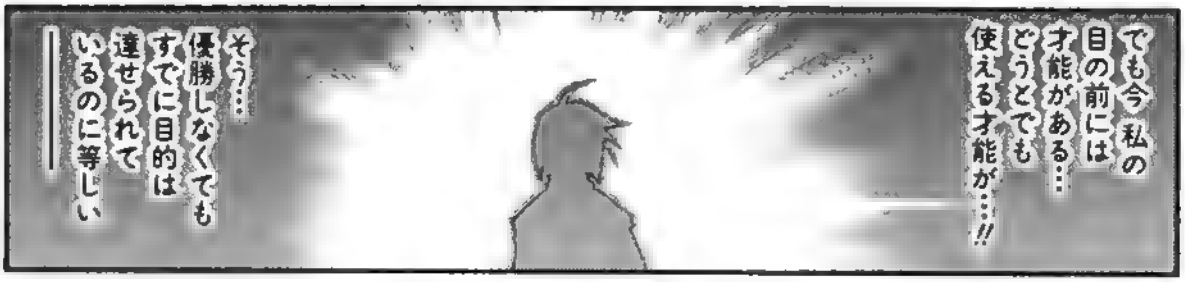
すべては私
須羽アスカの計画どおり――
いえ…それ以上――
それ以上の才能を手に入れたわ――
心配することないわ有人君
私の傀儡の才能を生み出す泉……
そのために私がいるのよ
私がいろいろアドバイスしてあげるわ――
桐原有人――彼を利用すれば――

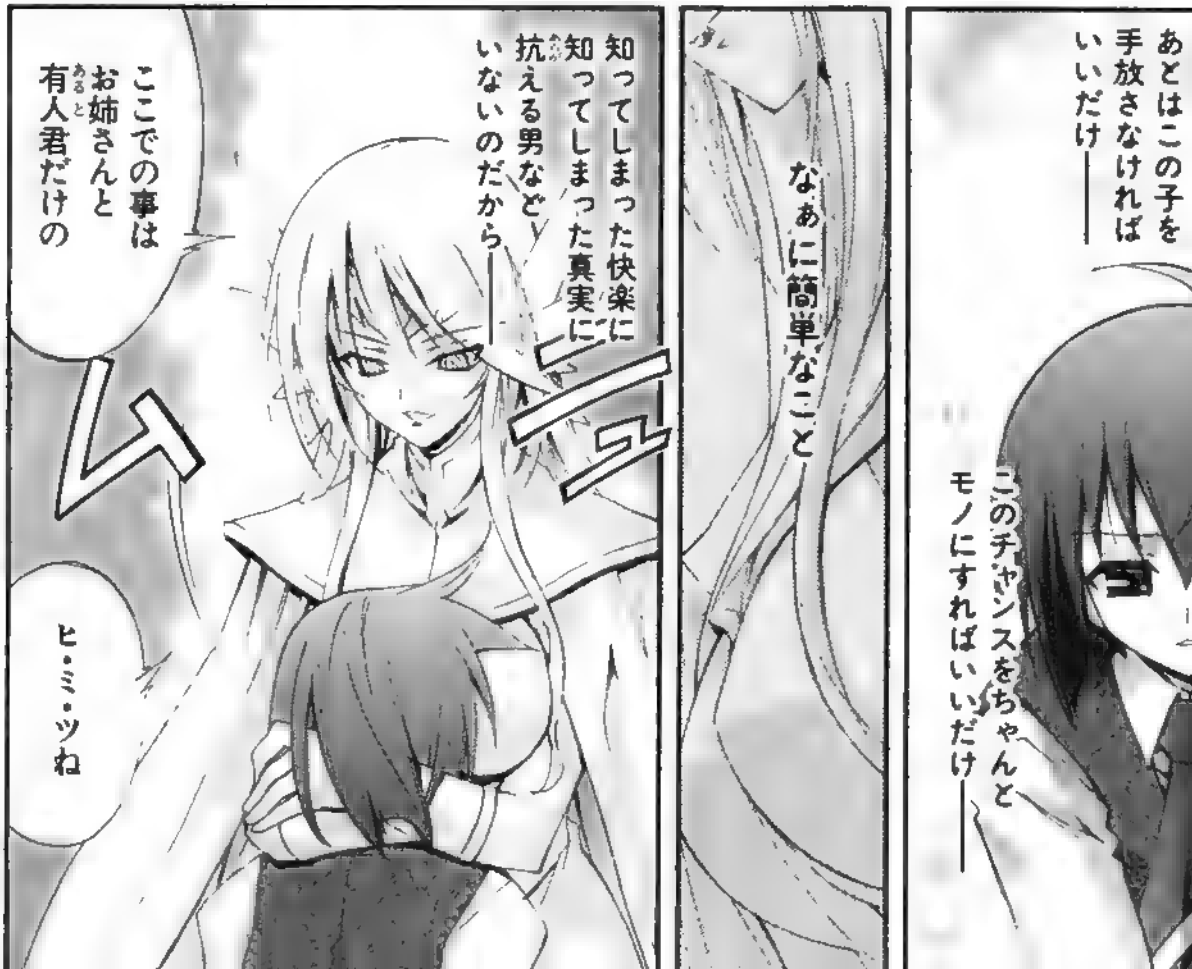
利用――
違うわ…
引き上げてあげる
だけ……
チャンスを与えて
あげるだけ
だって彼の文章は
荒々しくて繊細だけど
未熟――
読者にイメージを
固定させるのは
難しい――

私が導いてあげる
――だから
私の力になって…
その才能を少し
使わせ……
分けてほしい
一度大きく
羽ばたく事ができたなら
この世界は
一度売れてさえ
しまえばなんとでも
なるのだから
私はそのための努力を
そのための苦労をしている
私は売れるべき――
そうでなければおかしい
だから神はこの力をくれたのだろう
チャンスをくれたのだろう

今までは
ちょっとした運が
なかっただけ
私に順番が
回って来なかった
だけ――

私は
私の能力で
「終わらない
アリス」を集めて
才能か名声を
手に入れる
つもりだった
そのための
策略はしてきた
――


でも今 私の
目の前には
才能がある…
どうとでも
使える才能が…!!
そう…
優勝しなくても
すでに目的は
達せられて
いるのに等しい
――


あとはこの子を
手放さなければ
いいだけ――
このチャンスをちゃんと
モノにすればいいだけ――
なぁに簡単なこと
知ってしまった快楽に
知ってしまった真実に
抗える男など
いないのだから――
ここでの事は
お姉さんと
有人君だけの
ヒ・ミ・ツね

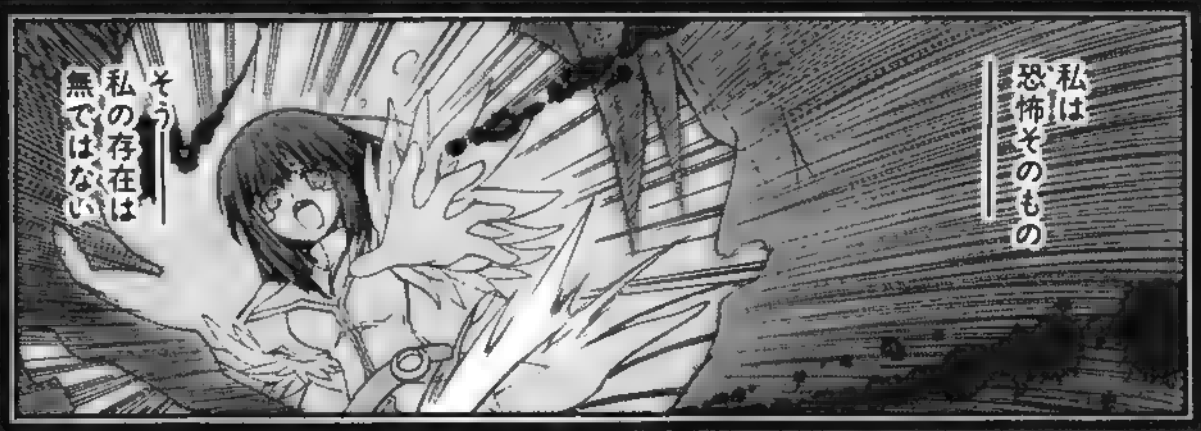
す…
——須羽さん…
なぁに…？
簡単にはさせてあげないわ…
焦らせてじらす…
まだものたりないのかしら？
知りたてですものね……

まぁ覚えたての頃はそんなものかも
これ…これですよこの本!!
ここにあった本です
え…？本…？

ほら…見てください…
読んでみてください
何なのよ…もう…
彼女の名前は斬崎リサ
ただ——

あ
すみません
この世界で私は一人
誰との接点もない――
この世界は虚構
ここでの私は――幻――
ここは私の世界じゃないかもしれない――

本当の世界の私は死神で――
人と接して魂を奪う――
そう――ここは不思議の世界――
もう一つの世界
でも――ここが本当の私の世界――
ここでの私は残忍そのもの――
私は死神――
斬崎(きりさき)リサ
デザイン協力 橋本タカシ


私は
恐怖そのもの
そう
私の存在は
無ではない

あっ
ましてや
幻などでは

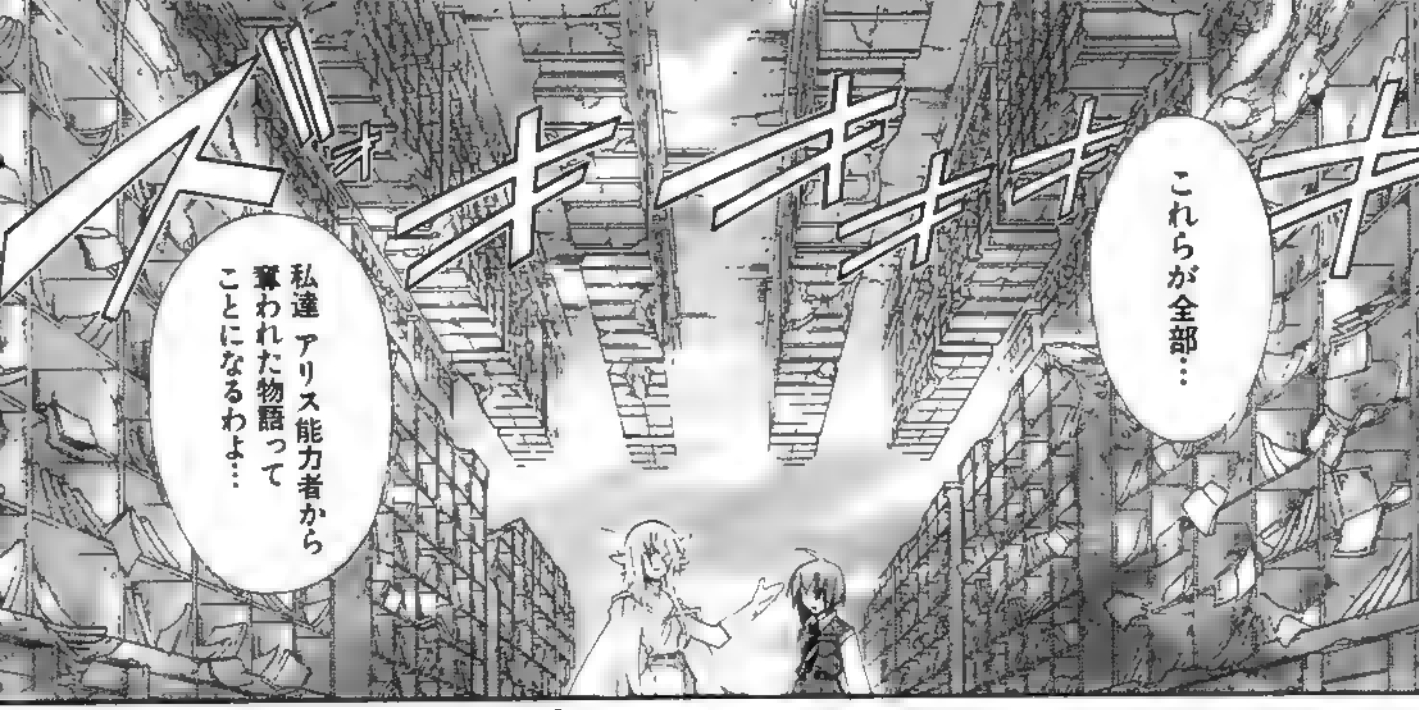
すみません
……
……
ヒョイッ

でも
出会ってしまった
大丈夫ですか？
本当ひどいなぁ

あ……
は…い
その人は
この虚構の世界で
たった一人私を
解ってくれる人——
「私の存在を
認めてくれる——」
私と世界との
掛橋(かけはし)——
——でも…
TOP
WIRED
THOMSONRS

やっぱり私は
死神なのだろう
私は残忍そのもの
だってこんなにも許せない
許せないのは
これが現実だから——
死神の鎮魂歌（レクイエム）
死神は一人
ただ一人
自分以外を刈り取り
世界を刈り取り
ただ一人
刈る者がいないと
死神ですらないのに
刈る者がいないと
いる意味すらないのに
死神は一人
また一人

死神は
涙する
そしてまだ私は
涙する
——これが……？
どうかしたの？
気がつきませんか？
3年…4年ぐらい前かな…鎌で切り刻まれた連続殺人があったんですよ
たしか犯人が斬崎って人で
学校で噂になったんで覚えてる…
これって…その人の話じゃないですか？
ってことはノンフィクション小説ってこと？
違います…
その人の心の物語じゃないかってことです
ここにある他の本もそうです
この感じ…写した人達の物語に感じが似てて…だから——
みょうに一人称や一方的な想いが多いんです
え……？
有人君…何を言ってるかわかってる——？
もし君の言ったとおりだとすると…


これらが全部…
私達 アリス能力者から
奪われた物語って
ことになるわよ…

……
ブク。

きらは達が
心配だ…

須羽(すわ)さん!!
早く合流
しましょう!!

ちょ…
有人君…
本当に
本の虫なんだから…
…もう…

Episode:21

はあ
ロリーナ…
はあ

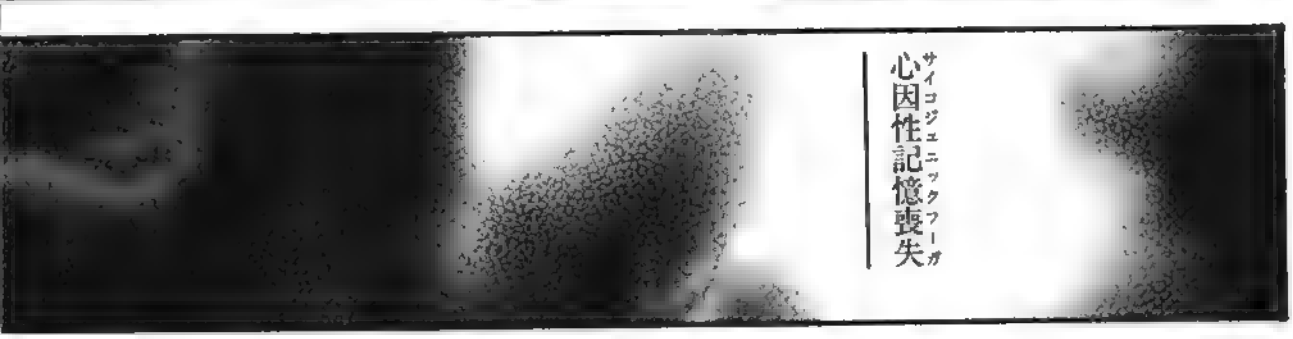
死んだ
はずなのに…
なぜ私の前に…
フラ
フラ

怨み――?
たしかに…

怨まれても
おかしくない…
化けて
出てきても
不思議では
ない――
なにせ
生きたまま
火葬にしたの
だからな…

いつかの
幽霊少女のように
ロリーナは
こっちの世界に…
――?
私を怨んで…
待ったわ…
だが それは
非科学的な
モノの見かただ…

非科学的――？
ならば
この空間は
なんだ……
現実ではない
もうひとつの世界――
自分――
まるで
――


心因性記憶喪失（サイコジェニックフーガ）

だが これは
――
現実だ……
本当に？
本当ならば
あのロリーナは
目の錯覚…
私の想い作り出した
まぼろし……
いや しかし
不思議な事が
起こるから
不思議の空間（メルヴェイユスペース）だ――

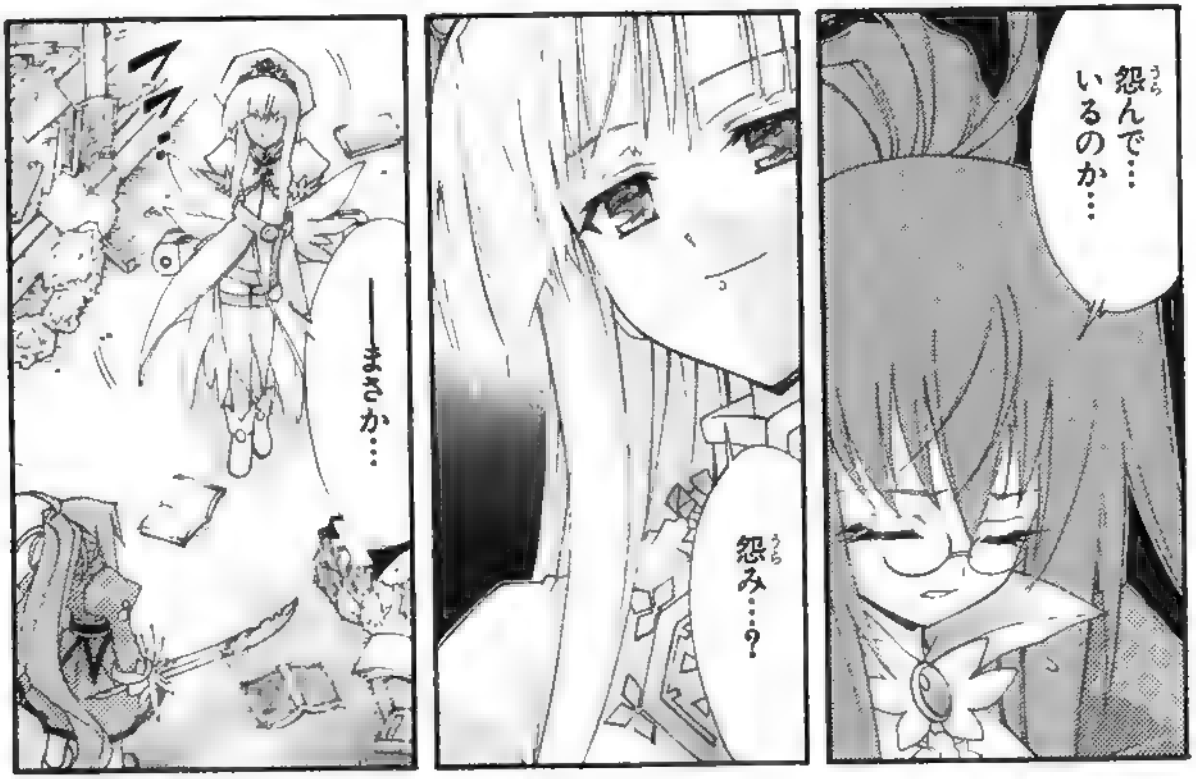
そもそも…
この空間は…
思考を混乱させる――？
こんなこと…前にどこかで……
ザザ…
考えがまとまらない――
みんなはどうなんだ――？
正気で無事か――？
――誰かの能力にはまっているのか――？
ザザザ…
クス…

頭を回転させろ…
研ぎ澄ませ――
冷静に――
落ちついて――
冷静に――
自分を取り戻せ――
そう……
思考を安定させろ…
不思議でけっこう……
この世界の謎を解くと――
ロリーナと誓ったんだ……

!?
その言葉——
やっぱり
キリカだったのね
……
……
ロリーナ…
やはり
君…なのか
……？
ひさしぶり…
8年ぶり
…かしら？
わからなかった
わ——
貴女(あなた)…
全然変わらない
のね……
ああ……
8年前から
私の刻(とき)は
止まったままだ…
私も…
あの時
貴女(あなた)のしたことを
ひと時も忘れは
しないわ…

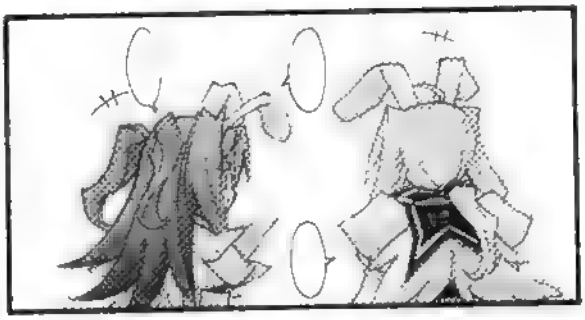
——二人の刻は凍ったまま…——

やはり…


怨んで…
いるのか…
怨み…？
——まさか…

氷の棺!!
そんなレベルの…話じゃないわ…
ねぇ キリカ
……!!

早く 早く
そうだねっ
お兄ちゃん達と
合流しなくちゃ



きらはちゃん…
キサは…
キサはいつも
きらはちゃんのことを
考えていますの…
なのに…

なのに なんで
ありすちゃんと
仲良くするのですの…

まさか
キサちゃんが
ありすちゃんの
首をしめる
なんて……
どんな理由か
わかんないけど
二人を近づけ
ないように
しなきゃ…

二人の秘密ができれば…
ギュウゥ。
きらはちゃんがそれを望んでくれれば
二人の結びつきはもっともっと強くなるって思ってたのに
うれしかったのに……
なんで……
止めましたの…
私の気持ち……
私の大好きなきらはちゃんを通して
人を好きになれるかもしれない…
知ってるくせに……

ここにいるのだって
きらはちゃんの
手助けをするため
ですのに……
とぼ…
どうして…
どうして――
どうして……
ピタ
どうしてですの
きらはちゃんの
願いをかなえたい
だけですのに……
きらはちゃんの
願いは
私の願い…ですの
早く揃えて
願いをかなえて
もらおうよっ
本当に!?
そうね
私の願いは
――?
私の願いは――
きらはちゃんの幸せ
きらはちゃんの
笑顔――
きらはちゃんがにこにこなら
わたしもにこにこぽわーん
ですの……
本当に――?
きらはちゃんと
私が幸せなら
にこにこぽわーん
ですの
そうですの!!
そのとおり
ですの!!

私の願いは
きらはちゃんと幸せになること――――
それが
きらはちゃんの幸せなのですの……
そう…
そうに決まってる…!!
そうに違いない…
そのためには…
物語を…
みんなの物語を…!!
でも…ッ
でもっ
そのためには…
きゃあっ
どてーっ

いたた…

なんで
こんなことに
なっちゃって
るんでしょう
本も
ちらかっ
ちゃって…
ポス
片付けて
おきま
しょう…
ポヤーン

本当……
ちらかす人がいると
困りますよね……
はふー
そう?
片付ける人の
身にもなって
ほしいもの
です……
まぁ…片付けるのは
キライじゃ
ないですけど…
そ…そう…
フツーの人に
見えるけど
……

貴女も…
能力者なの…？
ええっと…
もしそうだったら――？
能力者なら…
戦って――
ッ
私達の願いに近づかせてもらうわ――
ザッ
そう…
チャ…
パァァァァアッ。

見てごらん…アリス…
こんな所に
隠れていたよ…
変身せずに
紛れ込んでいては
わからないわけだ…
硝子の鍵の
能力者…
残念だけど
……
終わったかしら
二人にとっては
事故みたいな
ものね…
彼女の
変身した姿を見て
無事な者は
一人もいない…

デザイン協力
七尾奈留

なるべくなら
戦いたくないんだけど…
降りかかる
火の粉は
払わなければ
いけないわ
キィィィン

ランキングNo.2
透皇院トウコ
ドレスアップ!!

Episode:22

えっ!?
まさか…!?
そんな…!!
なんで!?

どうして攻撃があたらないの!?
通り抜けて見えるよ!!
まさか前にいた幽霊みたいなやつと同じ!?
幽霊ではないですよ
すべて見えてるからです
止まっている小石でケガをする人がいますかしら?

鍵の能力のひとつ
使えない――
力まかせの人達を
相手にしないと
いけないなんて
心が痛みます

――でも

鍵の能力
――？

私自信は
攻撃が
苦手なのは
わかって
いるから

手加減は
しません
――

能力って
どうやって
使うのっ!?

ささちゃん
知らないっ
!?

キキキ

それも
躱(かわ)――

私の善意を
受けなさい

ささちゃん!!

ささらはちゃんと
幸せになるには
どうしたら
いいんですの…!!

ピッピッピッ

みんなの持つ
時計に干渉し…!!
一定の空間の
時間を操る
何よりも
強力な能力
それが
透皇院トウコが
No.2たるゆえん!!
えっ!?
まだまだ
小さくなります
躾は幼いころから
しっかりしないと
いけません
ちっ
縮んだ!?
ええっ!?
きらはちゃん
かわいいですの!!

ロ…リーナ…
どうしたら
……

どうしたら君に
安らぎを
与えられるんだ…？
安らぎ
――？

キリカ…
貴女(あなた)が私に
安らぎを与えて
くれることは
ありえないわ…

貴女(あなた)に
会ってから
――――

安らいだことなど
一度もない……

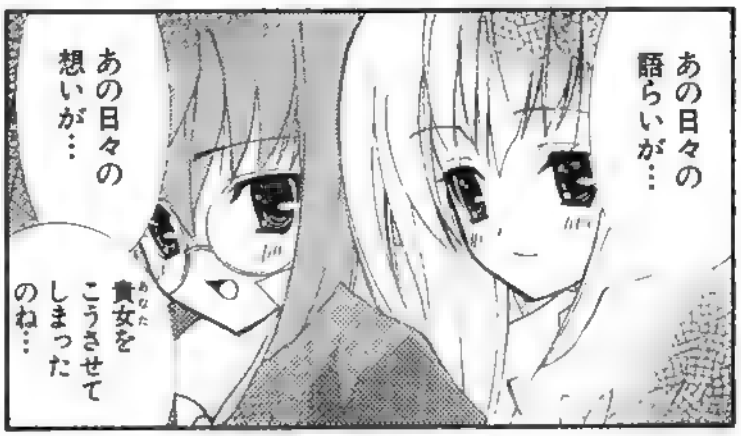
怨んで…
いるのか…
あの日の
出来事を
……
怨んでなど
いないわ――
だって私
とても充実している
もの――
貴女とこうして
また――
ぎゅ
今
まさに
とても充実して
いるわ……

ならば……
このまま成仏してくれるというのか…？
キリカってば…
まったく
前と同じようなことを言うのね…
な…なに…？
そんなに私のことが心配だった――？
貴女のちょっとしたいたずらで私が棺の中で焼け死んだのが――
やめろ……!!
貴女は
何度うなされて――
何度懺悔した――？
何度後悔したの？
やめろ……？
何度夢を見て――
何度悲しんだ――？
何度思い出したの――？
やめ……
てくれ……

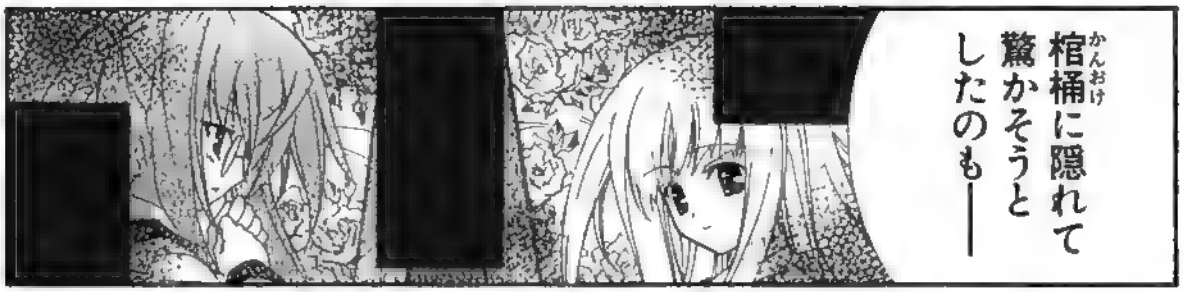
私への想いは何？――――
恐怖？
驚き？
罪悪感？
困惑？
哀傷？
それとも――――
愛？

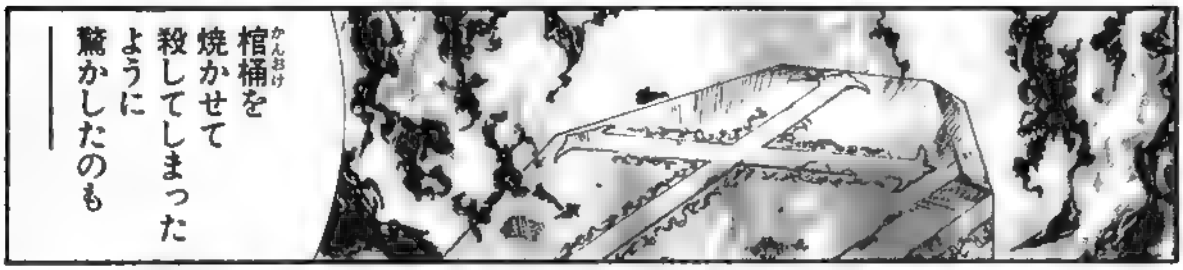
やめてくれ
ロリーナぁあ
やあっ…
やめ…てくれ……

う…
ううう…っ


あの日々の語らいが…
あの日々の想いが…
貴女をこうさせてしまったのね…

この出会いは
どう――？
私は
またキリカに
会えて
うれしいわ
わ……
私だって
ぼろ
ぼろ
私だって また会えて
うれしい…!!!
うっうっ
だが……
君は死んだんだ…
私が殺したんだっ
うわああ
ああ
うれしいわ…♡
あなたに
そんなに深く
刻み込まれて
いるなんて…♡
ちょっとした
いたずら心
だったのにね
――
貴女(あなた)も
私も――


棺桶に隠れて
驚かそうと
したのも――


棺桶を
焼かせて
殺してしまった
ように
驚かしたのも
――

些細な
いたずら――
――え
今…なんて
言った…!?
ロリーナ…
君はまさか
――
……?
死んだと
思った――?
私
死んでないわ
だって死んだら
貴女に会えない
じゃない

!?

明かすのは
何度目に
なるのかしら
――？
クスクス
その度に
あなたは驚いた
顔をして――
その度に
――？
なにを
――？
その度に
だって――？
――
二人で解こうと
誓った約束――
私と貴女の
この力の秘密は
解明できたの
かしら？
――？
例えば…
膨大な量の
この図書館の
本――
これらは
すべて――
少女達の
物語だと
いうことに
また気づいたの
かしら？

ドクン
な……に……!?
アリス
ロワイヤルは
これで
何回目――?
私と貴女(あなた)は
何回ここに
来ているのか
しら?
ドクン
真実に
たどり着く
ために
二人で手を
取り合って…
アリス
マスターに
会ったことが
あるのは――?
ドクン
マスターと…?
考えてるわね…
その賢(さと)く
高速回転する
頭で……
そのキラキラと輝く
叡智(えいち)を見極め
ようとする
瞳で見てきた
私との思い出を――
私の言葉の
意味を――
ロリーナ…
君は……
考えて…
もっと
もっと
考えて…

ああ…
今の貴女(あなた)は
きっと
私でいっぱいね――
素敵(すてき)……

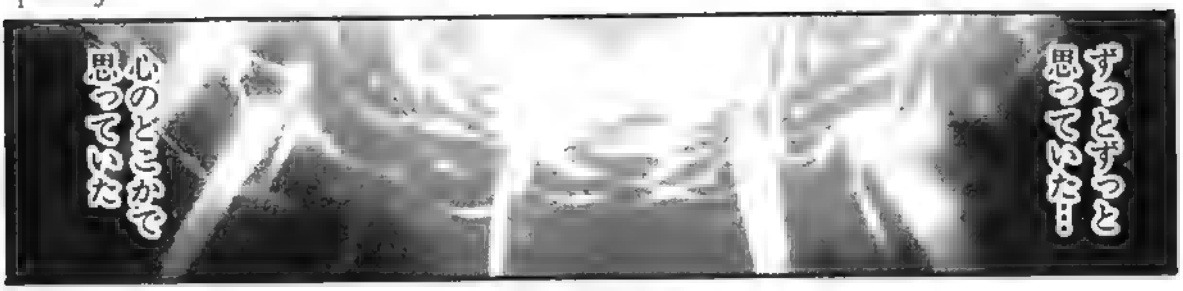
素敵(すてき)よ…♡
私でいっぱいの
キリカの心の中…
また見せてほしいな♡

氷で固まって
動けないところに
鍵をさすのは
気が引けるけど
キミッ
貴女と
私の間柄
ですもの
キリカは
許してくれる
わよね♡

じっくりと
……
ゆっくりと
……
やさしく…
貴女の心が
傷つかない
ように……
気をつける
から……

いつも
みたいに……
私をずっと
見ててね…
いつもとか…
またとか…
あッ
ああ……
やぁぁ……
そう…
もっと
ビクッ
ビクッ
あッ
ギリギリまで
もっと私を
感じてちょうだい
そして
私に もう一度!!
貴女のすべてを
見せてちょうだいっ!!
ズチャ
!!
アア

そ……うか……!!
私でいっぱいの——
私で溢れている
キリカの物語——
もうひとつの私の物語を
見返すためだけにあなたがいる……


ずっとずっと
思っていた
心のどこかで
思っていた

あ……
私の願いは
叶うことは
ないのだと

こぼれてしまった
コップの水は
また注げば
いい……
コップが割れて
しまったのなら
また買いなおせば
いい……
だが真には
そうではない
その時 その瞬間
存在した物とは
違う物なのだ
それらは
ただの代用品
でしかない……
そして
この世には
は…
代わりのきかない
モノもあるのだ…

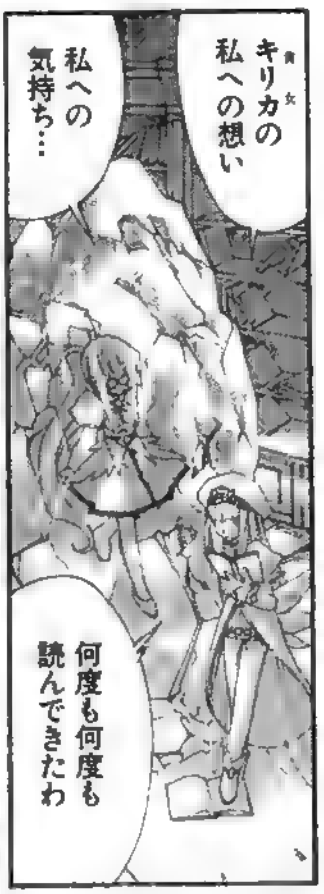
そうだろ?
ロリーナ…

Episode:23

貴女の中は
今回も
私のことで
いっぱいね
だが
ううん…むしろ…

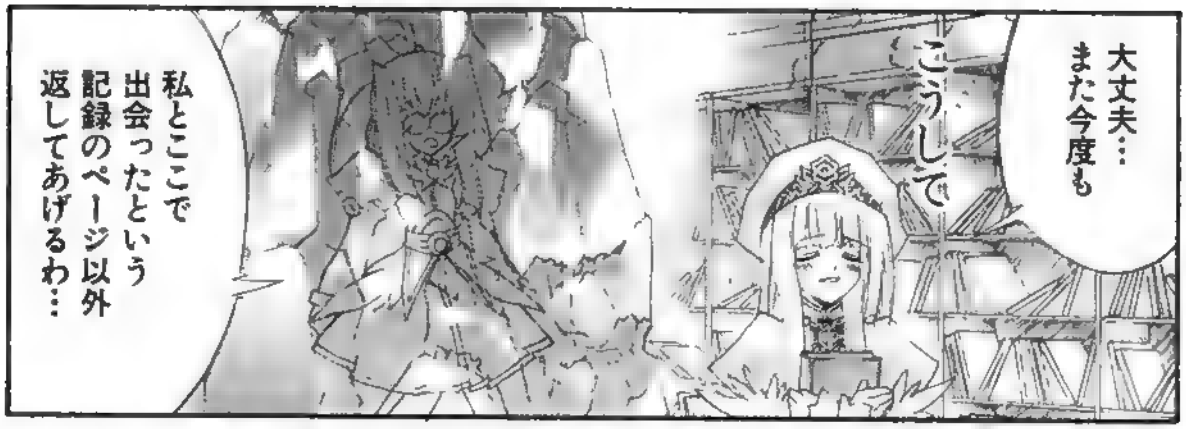
いつもよりも
多いくらいだわ…
素敵…
本当……
素敵だわ

ロリーナは
こんなに
いっぱい
あふれてる…
こんなに…


キリカの
私への想い
私への
気持ち…
何度も何度も
読んできたわ

貴女は
私が死んだと
思い込んだまま
貴女は何度も
私に心を…体を
さらけ出し
何度も
恥ずかしそうに
しながら 何度も
泣いたわね…

何度も
ナンドモ


大丈夫…
また今度も
こうして
私とここで
出会ったという
記録のページ以外
返してあげるわ…

私の物語の一部を
でも本当…
いつもより
たくさん…
貴女は
栞まで差し込んで
こんなにも私を
考えてくれていた
のね……
奪っては
戻していた――?

――栞…?

きっと
いつもより
多いのは

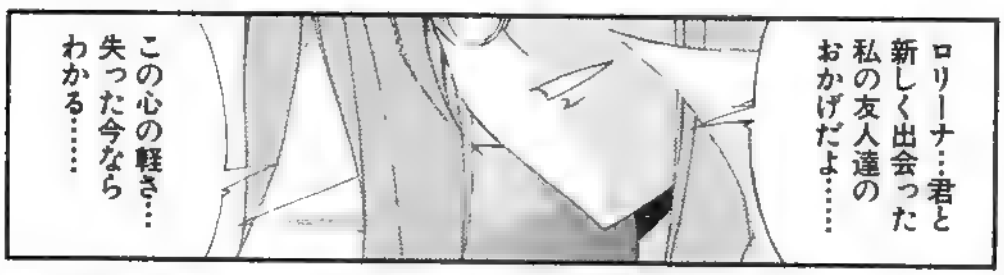
そのいまいましい
栞のせいで
ロリーナのことを
いつもより
たくさん考えた
からだよ……

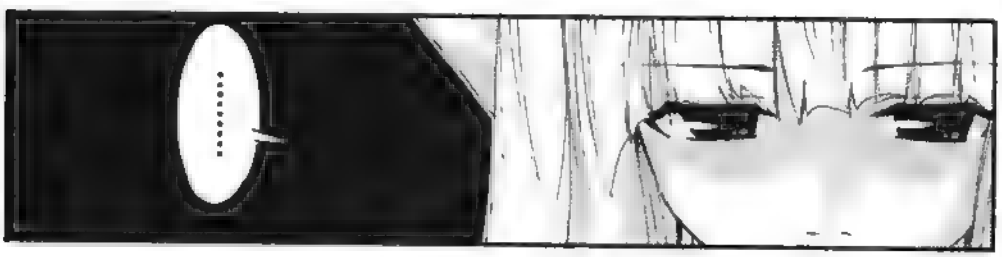
10
!?

な…んで…!?
こんなこと
今まで
一度も……
それに
子供の姿じゃ
ないなんて
……!!

それはきっと…
私が
大きな秘密(トラウマ)を
ふたつ持って
いるからだろう…

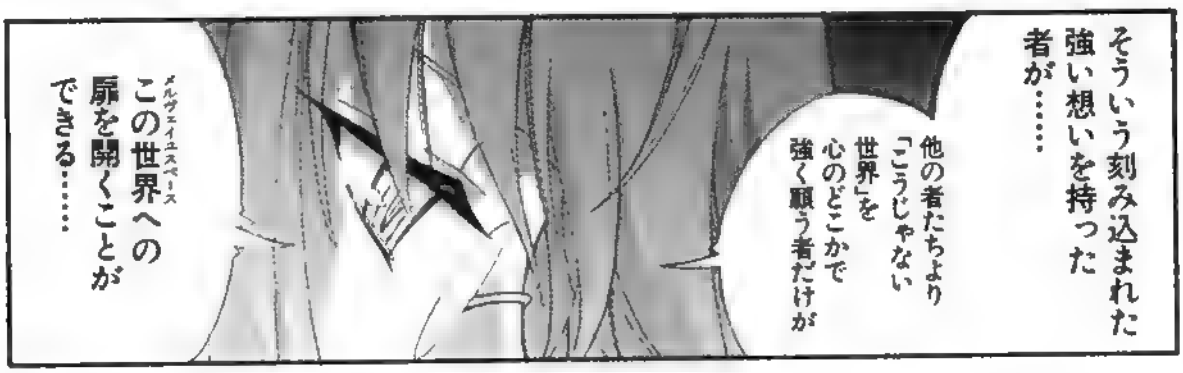
そして……
少し謎が
解けたから…
かな


ロリーナ…君と
新しく出会った
私の友人達の
おかげだよ……
この心の軽さ…
失った今なら
わかる……


……

いや…きっと
普通は失うと
何も気にしなく
なるのだろうな
――
――そう…

アリス能力とは
心の中の秘めごと
決して外に出してはいけない
内なる想い——
閉じ込めなくてはいけない
物語——……


そういう刻み込まれた
強い想いを持った
者が……
他の者たちより
「ここじゃない
世界」を
心のどこかで
強く願う者だけが
この世界への
扉を開くことが
できる……

そして…
その秘密の物語を
一度取り除かれた
者が味わう
開放感と喪失感——
虚無感はそのことすら
幻であったかのように
感じるほどだ……

物語に囚われる
人の心……
——まさに

アリス症候群と呼ぶに
ふさわしい……

それで……
私への想い(トラウマ)は
もう消えたって
いうの――？
少なくとも
――
「君を殺して
しまった」
という想い(トラウマ)は
払拭(ふっしょく)されたよ…
――そして
それが失われた
からこそ
ここにいるのは
そこに囚(とら)われていない
今の私の姿だと思う
そこにある
物語は
虚構(きょこう)の物語
ほんの
ちょっとした
いたずらが生んだ
物語
――だがそれを
今や気に病む
必要はない――

ロリーナ…
今 君はこうして
私の目の前にいる
生きているのだから……
認めないわ
!?

な…
この物語(ヒト)がいらないなんて認めない!!
私が無意味になるなんて認めない――
認めないわ!!
ロリーナ…!!何も私はそんなこと…!!
刻み付けてやる……

貴女に
私を
やめろロリーナ!!
戦う気はない!!
キリカがそうでも私にはある——
マスターと契約したアリス警察として——
ア……アリス警察だって!?
謎に近づきすぎた貴女を——
研究者として優秀すぎる貴女を

終わらないアリスを
終わらせないための
障害となりうる者は
この世界から
消してしまわな
ければならない
な…に…!?
どういう
意味だ――?
君と
君と解明しようと
誓ったんじゃ
ないか
すべては
今まで貴女から
奪ってきた物語に
あるわ
私と
貴女の物語
今まで上手く
いってたのに

何度も何度も貴女は私に負けたのよ
いつしか抗う気もなくなっていたわ
無意識のうちに戦いを避けるようになっていたんじゃないかしら?
そんな…
そうかもしれないが…
それはきっと君と戦いたくなかったからだよ ロリーナ
願いが叶うという報酬にも魅かれずに研究のためにただこの世界に出入りする
そんな貴女をマスターが見逃すわけないのよ
ほらっ
足元がおろそかになっているわよっ!!
な……
し、

!?

ロリーナ…!!
これでいい…
これでいいのよ
キリカ……

キリカには…
私でいっぱいでいてほしいから…
これで
また……
私のことを――
ロリーナ…！

！
ロリーナの本の中は…
ひとつのことでいっぱいだっだ…

キリカ(私)への想い――
ロリーナ…君は馬鹿だ…
君のことが私の心から消えることなどありはしない
それに
絶対に叶(かな)うことはありえないと考えていた私の願いは――
君が生きていること――
願いは叶(かな)っている――
そして…今ではすべてがわかる…

どんどん
ちぢんじゃうっ
これって
いったい
どうしたら
いいの!?
どんどん
あなたの時間は
巻き戻る…
どんどん
どんどん——
今回のNo.2は
やっかいな
力だな…
どうだ?
勝てそうかね?
——問題ありません
私には
巻き戻る時計も
時間もありません
もの……
ですが普通の能力者も
これから逃れる方法は
ないわけでは
ありません——
——そう…
例えば——
キラ
きらは
ちゃんっ

きらはちゃん
かわいい
ですのーっ♡
プニ
プニ
フニフニ
ほっぺが
ぷよぷよ
ですのー♡♡♡
プニ
キ…キサ
ちゃんっ

私の空間で
時間が巻き戻って
ない…!?
どうして
――?

大丈夫ですの
キサお姉ちゃんが
なんとかするですの
ちっちゃい
きらはちゃんを
守るですの♡

そんなこと
いったって
キサちゃん変身して
ないじゃないの~
はなして
こんなにかわいい
きらはちゃんは
はなせませんのーっ

そうか…
変身して
なければ
時計はない――
干渉
できない――?

彼女にそんな
弱点が――?

ですが
これでは
意味が
ありま
せん

きらはちゃんは
キサのですの!!
誰にも
渡しません
ですの!!

あっ

そう…
生身では
太刀打ち
できない…
普通に考えて
彼女の能力に
弱点はない…

変身もして
ないのに戦える
とでも――?
私の能力から
逃れられると
でも――?

キ…キサちゃん
……!!

き…きっと
罰があたった
ですの…
私さっきまで
きらはちゃんの
こと……

私は
この無敵の
能力で
物語を
揃えて
きゃあああああっ
私の願いを
叶えさせて
もらいます

キサ
ちゃん!!

常に頂点は
リデル――
過去数回の
アリスロワイヤル
でもそうだった――
ロリーナが
「終わらないアリスを
終わらせない」と
いったように
無限に集められる
少女達の物語…
この物語は
終わらない――
願いは
叶わない…

そう……
我々は利用
されているん
だ――!!
アリスマスターに!!

―介 錯―
七戸輝正
太田 仁

―アシスタント―
戸田陽近
山下大輔
柴生田利則
梶山直人
冨岡將司
佐藤りえ
山下祐次

―スペシャルサンクス―
外山太一
柳井伸彦
田邊千奈美

―デザイン協力―
おーじ
さあぺんと
桜沢いづみ
高木信孝
七尾奈留
橋本タカシ
MATSUDA98
宮下未紀
矢野たくみ

―協力―
高野信二

ミラーリト
鏡の鍵
Alice Arisugawa
有栖川ありす
鍵名称◆鏡の鍵
能力◆打撃、他不明
STR：5 CON：3
INT：8 CHA：2
DEX：2 KEY：8
本作のヒロイン。好奇心が強く、お節介焼き。鍵姫としての能力は現在成長中。無限大かつ未知数。鏡の鍵の基本能力や特性の詳細は不明。
Character Design By 介錯
私だけのアリスを探しているの
お兄ちゃん、だ～い好き!!
ミラーリト
鏡の鍵
Kiraha Kirihara
桐原きらは
Character Design By 介錯
鍵名称◆鏡の鍵
能力◆打撃、他不明
STR：3 CON：3
INT：6 CHA：7
DEX：8 KEY：8
本編の主人公、桐原有人の妹。素直に感情を表してしまう性格。極度のブラコン。有栖川ありすとまったく同じ名称の鍵を持つがその理由は不明。

アンガーベル
風雅の鍵
Kirika Kagariqi
篝ホキリカ
鍵名称◆風雅の鍵
能力◆幼女の姿になり、風を操る
STR：1 CON：8
INT：8 CHA：6
DEX：4 KEY：7
沈着冷静な才女。鍵姫能力者であり、同時にアリス能力研究の第一人者。海外留学時に友人を亡くしており、心の傷を負っている。
君に興味がある
Character Design By 介錯
きらは ちゃんが 一番ですの！
レイレーン
漣の鍵
Kisa Misaki
御咲きさ
鍵名称◆神の鍵
能力◆水を操り、想像を具現化する
STR：5 CON：6
INT：6 CHA：6
DEX：7 KEY：8
桐原きらはが大好きなお嬢さま。優先事項はすべてきらはで構成されている。実はかなり高いランクの力を持つが、発揮していない。
Character Design By 介錯

リトル・マッチ
紅蓮の雛
暁アカネ
Akane Akatsuki
雛名称◆紅蓮の雛
能力◆炎を操り、想像を具現化する
STR：1 CON：3
INT：2 CHA：8
DEX：3 KEY：8
性格破綻者。炎の優さに魅入られた少女。能力は最高ランクだが非常に不安定。想像を具現化できるマッチは本数・時間制限あり。
綺麗をおげる…
Character Design By 宮下未紀

ジャミニッド
双子の鍵

双葉フウカ
Fu-ka Futaba

鍵名称◆双子の鍵
能力◆[illegible]力。予知能力

STR：2	CON：3
INT：3	CHA：2
DEX：7	KEY：6

双子の兄を捜す少女。鍵姫界でもめずらしい二つ存在する鍵を操る。能力が高すぎて扱いきれていない。

予知を上回ることは出来ない！

Character Design By 矢野たくみ

貴女をボクが倒せば…ナンバーワンだ

ハーメルン
魔笛の鍵

鳴見ナミ
Nami Narumi

鍵名称◆魔笛の鍵
能力◆奏でる楽曲により様々な効果を得る

STR：3	CON：4
INT：7	CHA：4
DEX：8	KEY：5

鍵姫ランク第7位。新人の鍵姫として頭角を現した少女。策略家だったが、リデルのパワーに一蹴された。

Character Design By MATSUDA98

パペットマリオネット
傀儡の鍵
Moyu Moegihara
萌木原モユ
鍵名称◆傀儡の鍵
能力◆自分自身が人形になり、多種多様の人形を操る
STR：3 CON：1
INT：7 CHA：6
DEX：7 KEY：3
鍵姫ランク第6位。鍵姫変身後、モユは思考停止し意思が無くなる。すべては人形のヒノが命令指示を出す。
高みの見物してやるぜ…なぁモユ！
Character Design By ひみべんと
キリカ…私をいっぱいにして…
スノーホワイト
白雪の鍵
Lorina Lilina
ロリーナ・リリーナ
Character Design By おーじ
鍵名称◆白雪の鍵
能力◆雪を操り、7つの武器が収納された鍵を使う
STR：2 CON：5
INT：7 CHA：6
DEX：3 KEY：8
鍵姫ランク第5位。雪の美しさと冷たさを持った美少女。最強の鍵姫の一人。

レッド・ノート
迷狼の鍵
Mika O-gami
大神ミカ
鍵名称◆迷狼の鍵
能力◆合体攻撃。狼を身にまとい狼少女になる
STR：8 CON：1
INT：7 CHA：1
DEX：7 KEY：2
鍵姫ランク第4位。純粋無垢。処女性の象徴的なキャラ。鍵姫になった段階で性格が狼化し、暴虐になる。
躾けの時間ね…
みんな男なんてウソつき！
Character Design By 桜沢いづみ
ブリック川ビーン
棘の鍵
Jack Jacqueline
ジャック・ジャクリーン
Character Design By 高木信孝
鍵名称◆棘の鍵
能力◆植木を操る他、回復能力がある
STR：7 CON：6
INT：2 CHA：5
DEX：7 KEY：7
鍵姫ランク第3位。鍵がムチになる特殊なモノで、遠近距離戦闘が可能。鍵の樹液で体の傷を治せる。

シンデレラ
硝子の鍵
透皇院トウコ
To-ko Toukouin
STR：2 CON：2
INT：8 CHA：7
DEX：1 KEY：8
鍵姫ランク第2位。最強の鍵姫のひとり。戦闘により変化するドレスをまとい、対象の時間を操作する。
私の能力は無敵……抗ってみなさい？
Character Design By 七尾奈留

ハーデス
死出の鍵
Risa Kirisaki
斬崎リサ
鍵名称◆死出の鍵
能力◆影響範囲内の鍵を
運命化し、鍵能力を封じる
STR：3 CON：4
INT：7 CHA：5
DEX：5 KEY：8
整った顔立ちの割に無印象。表情・感情の起伏が極端に乏しい美少女。有栖川ありすたちとは違う次元の鍵姫。
すいません……
Character Design
By 橋本タカシ

DENGEKI COMICS

鍵姫物語

永久アリス輪舞曲(ロンド)③

2006年1月15日　初版発行

著者	介錯
発行者	久木敏行
発行所	株式会社メディアワークス　〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8 東京YWCA会館 電話03-5281-5215(編集)
発売元	株式会社角川書店　〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 電話03-3238-8605(営業)
カバーデザイン	團 夢見(伸童舎)
本文デザイン	OnGraphics
装丁	朝倉哲也 (design CREST)
印刷・製本	共同印刷株式会社

©KAISHAKU

R本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。
本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡ください。

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

初出／コミック電撃大王2005年3月号～2005年11月号・コミック電撃帝王VOLUME7(メディアワークス刊)

ISBN4-8402-3294-6 C9979

有栖川ありす

Alice Arisugawa

鏡の鍵（ミラーソード）

Character Design By
介錯 Kaisyaku

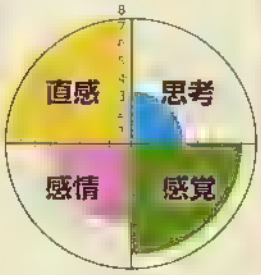
PROFILE

名前　：有栖川ありす
鍵　　：鏡の鍵
基本能力：打撃
特殊能力：本人も気付いてない
　　不思議な力を秘めている

能力値

STR ：5
INT ：8
DEX ：2
CON ：3
CHA ：2
KEY ：8

心の力



DATA

好奇心が強く、お節介焼き。自身の感情に対しては素直になれないので、時に損をするが、思いやりのある、心やさしい少女。
能力値のKEYが最高ランクで、鍵姫としての能力は現在成長中。無限大かつ未知数。

カキうさ採訪記

やあ、アリス。今日もご機嫌　あれ？　そうでもないみたいだな。アリスが難しい顔をしているのは珍しいな。
「いつもノーテンキなわけじゃないわ」
そりゃ失礼。聞こうじゃないか。
「　私、告白されちゃった！　みたいなの」
みたいなのって、何だそりゃ？
「私もよくわかんないのよ。男の子の言葉ってどこまで本当なのかわかんない」
おてんばアリスが初めて女の子らしいことを言ってるじゃないか。おっと、怒るなよ。俺は喜んでるんだぜ。祝言、祝言！
「楽しんでる顔にしか見えない」
この顔は生まれつきだよ。フフ、アリスに告白する男が　本当かよ!?
「だから、本当かどうかわかんないから、悩んでるのよ！」
あのな、アリス。多分、その男も同じように悩んでいるはずだぜ。告っちゃったものの、さてどう　ようってな。
「そうなのよな。ちょっと気弱な感じがするかも」
じゃあ、そういうナイーブガイには、アリスがエスコートしてやらないとな。いやいや待てよ、ここは男らしさを見せてもらうまで、焦らした方が、恋心がより燃え上がるか　。
「勝手な想像しないで。やっぱり、話すんじゃなかった」
ハハ、若い若い。それだって恋の駆け引きさ。恋愛というゲームを楽しまなきゃな。
「ゲームですって!?　私はホンキなの！」
アリス。
「バッ」
ほら、最初から答えは出てるのさ。それが君の気持ちだ。
「うっ　うるさい、うるさい、見透かすなー！」
イタイ、イタイ　なんで殴るかな!?
「バカバカ！　てやーっ！」
ギャーッ　鍵で殴るの禁止――っ!!

桐原きらは

Kirahra Kirihara

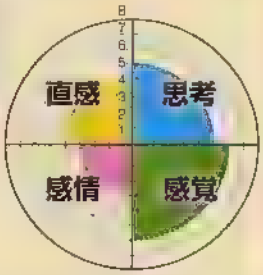
PROFILE

名前　：桐原きらは
鍵　　：鏡の鍵
基本能力：打撃
特殊能力：本人も気付いてない
　　不思議な力を秘めている

能力値

STR ：3
INT ：6
DEX ：8
CON ：3
CHA ：7
KEY ：8

心の力



DATA

主人公、桐原有人の妹。素直に感情を表してしまう性格。頭も良く、比較的器用に何でもこなすが、極度のブラコンで兄関係のことでは感情の制御が出来なくなる。
直接攻撃タイプの鍵姫で、有栖川ありすとまったく同じ名称の鍵を持つ。鏡の鍵の基本能力や特性の詳細は不明。

鏡の鍵（ミラーワールド）

Character Design By
介錯
Kaisyaku

カギっこ探訪記

「むうう～～～」
おや、きらは、今日は機嫌が悪そうだね。
「有人お兄ちゃんが　ありすやギリカの話ばかりするから。それで構ってもらえなくて、不機嫌なんだな。
「すごーい、カギっさ君は、なんでもわかっちゃうんだね！」
いや、君は思っていることが、そのまま顔に出るタイプなので。
「そ、そうか　」
フフ、しかしそんな所が君のチャームポイントさ。俺なんかほれ、表情が変わらないから、気持ちを伝えるのが難しくて、難しくて。誤解されやすいタイプなのよ。
「カギっさ君も傷ついたり、落ち込んだりするんだ？」
そりゃあそうさ。俺は繊細なロマンチストなんだぜ。
「あはは、全くそう見えないね！」
ぐっ、辛辣な　。本当に、思った通りのことを言う子だね。
「・そうなの　」
あれ？　なんで落ち込むかな？
「きらは、みんなみたいに、大人の駆け引きが出来ないお子様なの」
ああ、また週刊誌がワイドショーが何かで、いらない知識を吹き込まれてきたな　。
駆け引き　って？
「　今忙しいから　・なんて、わざと冷たく当たったり！　違う男の子といる所を見せつけてみたり！　普段は不良なのに、子犬を助けてみたり！　・とかとか！」
最後のは違うと思うぞ。
「とにかく、そんなアダルトなカケヒキが出来る女にならないと、お兄ちゃんが、よその女に取られちゃう！」
むう、有人を巡る熾烈な女模様。確かに、筋縄ではいかないようだ。
「　って、感心してないで、秘密道具の一つでも出してよ～！」
俺そういうキャラじゃないですよ!?

篝木キリカ

風雅の鍵（ウィンカーベル）

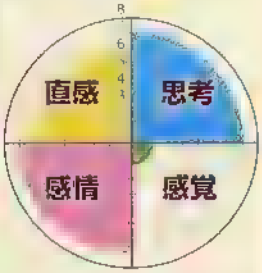
PROFILE

名前　：篝木キリカ
鍵　　：風雅の鍵
基本能力：風を操る。
　　変身後は幼女の姿になる
特殊能力：飛行能力。空気を固形化できる

能力値

STR ：1
INT ：8
DEX ：4
CON ：8
CHA ：6
KEY ：7

心の力



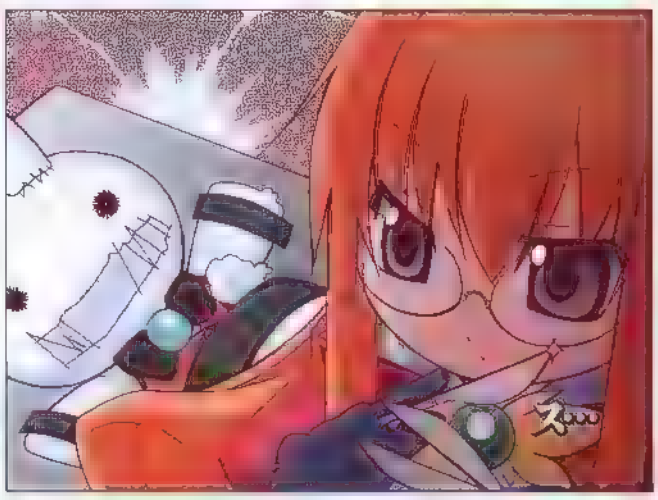
DATA

沈着冷静でナイスバディな才女。アリス能力研究の第一人者で、「アリス症候群／アリス能力」等の名付親。自身も鍵姫能力者で、幼女の姿で風を操る。応用の効く能力だが、実はキリカの最強の武器はその知性である。
海外留学時に友人を亡くしており、心の傷を負っている。

Character Design By
介錯 Kaisyaku

カギっこ探訪記

やあキノカ。相変わらず難しい顔をしているね。
「君は変わらず脳天気な顔をしているね」
失敬な。この見えても、俺は世界の行く末を憂えている繊細なハートの持ち主なんだぜ。
「ぬいぐるみの考えていることに興味はないよ。それよりも、君の身体の方が神秘だ。興味ある」
え、参ったな・・。一足飛びに肉体関係を要求されても・・。あ、嫌と言っているわけじゃないんだ。ただやはり、君がもう少し大人になってから・・・。君を傷つけたくない。
「何を勘違いしているんだ・・・？　それに私はこう見えても、実は大人だ」
おっと失礼。見た目は子供、頭脳は大人だったね。それってどんな気分なんだい？
「ふむ、これ程身が軽いというのは愉快だ。人間は歳を重ねるごとに、無駄に質量を増やしているということだな」
ああ、キリカは現実の世界ではナイスバディだからね。いやまや、その質量は無駄じゃあないと思うよ。この胸の膨らみは、なんでも出来る証拠なんだぜ。
「変な目で見るな。あれは　肩がこるだけで、研究の邪魔でしかない」
いやいや、そう言ってもあのスタイルを維持するのは至難！　人目を忍んで結構、気を使ってるんでない？　アブなんとかとか、フテなんとか　とか？
「そんな不効率なことをするわけがない。普段の健康管理が完璧なだけだ」
なんでムキになってんだよ。
「君がいやらしい煽りをするからだ。ただの綿クズの塊のくせに・・・」
酷いー　俺だって一生懸命生きているんだよ！
「そう言うなら、なおさら証拠が見たい。ちょっと解剖させてくれないか？」
なんでそうなるんだよ!?　って、縫い目をほどかないでー！



御咲キサ

Kisa Misaki

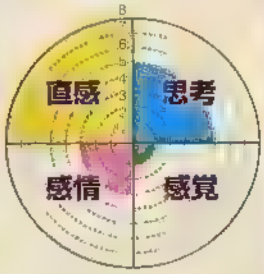
PROFILE

名前　：御咲キサ
鍵　：漣の鍵
基本能力：水を操る
特殊能力：漣の鍵を使い
想像を自由に具現化する

能力値

STR ：5
INT ：6
DEX ：7
CON ：6
CHA ：6
KEY ：8

心の力



DATA

同じ能力者である桐原きらはが大好きなお嬢さま。優先事項はすべてきらはで構成されている。鍵姫の戦いにおいて有栖川ありすに敗れ、心の力を失いかけるが、桐原有人の特殊能力により救われる。鍵姫としての能力は具現使役タイプで、実はかなり高いランクの力を持つが、発揮していない。

Character Design By
介錯 Kaisyaku

カギうさ探訪記

「ワンツー！！ フックだチンですの～！」

おや？ キサ、今日は穏やかじゃないね。サンドバックなんか持って来て、どうしたんだい？

「実は私、他の鍵姫に決闘を申し込んでしまったんですの。それでトレーニング中なんですの～」

おやおや、そりゃ聞き捨てならないね。

「どうしても叶えたい願いがありますの～。戦いは不本意ですが、仕方ありませんの」

願いってなんだい？ 欲しい物があるのかい？

「……はい、私の大好きな彼女は、自分のお兄ちゃんに夢中で……」

え？ お兄ちゃんて……実の兄にかい？

「はい、きらはちゃんは、どうしても私に振り向いて欲しいですの～」

そりゃ本当に穏やかじゃないね。……ん？ 彼女って……女の子ってことだよな？

「はい、きらはちゃんは、とってもかわいくて、優しくって、いいニオイがして、眩しくて、私の理想の女の子ですの～」

うーん、全ての恋愛を肯定したい愛の伝道師としては、人の恋路をとやかく言いたくないけど。……いろんな恋の形があるもんだね。

「だから、みんなから心の鍵を集めて、私の願いを叶えるんですの～」

でも、そうすると他の鍵姫たちが困ってしまうことになるよな？

「……それはそうですが、私のこの胸の苦しさに比べれば、それは些細なことですの。ああ、きらはちゃん。この戦いに勝利して、きらはちゃんとの永遠の蜜月を手に入れるですの～」

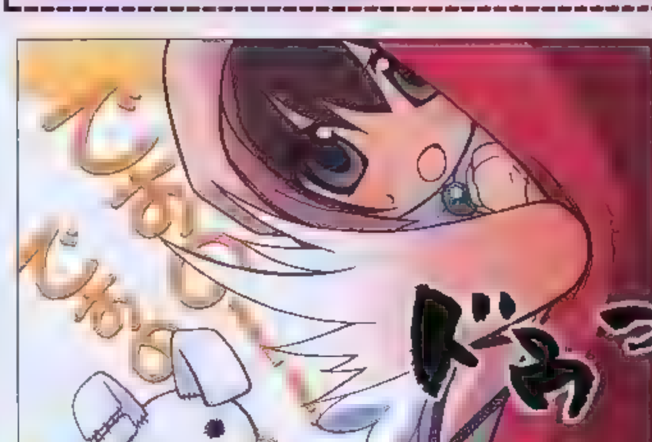
案外、そういう子が一番強かったりするからなぁ。これはひょっとするかも……。

「私の恋路を邪魔するようでしたら、たとえカギうささんでも、ノッ倒しますのよ～！」

ひゃー、こいつぁ大マンだぜ。……

「ワンツー！ PBK10連コンボですの～！」

……んな技の特訓ですか……？



リデル

黄金の鍵（ザ・ワールド）

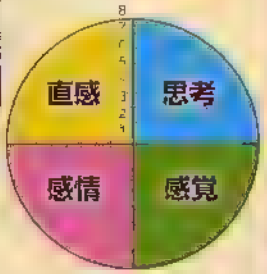
PROFILE

名前　：リデル
鍵　　：黄金の鍵
基本能力：不明
特殊能力：不明

能力値

STR：不明
INT：不明
DEX：不明
CON：不明
CHA：不明
KEY：不明

心の力



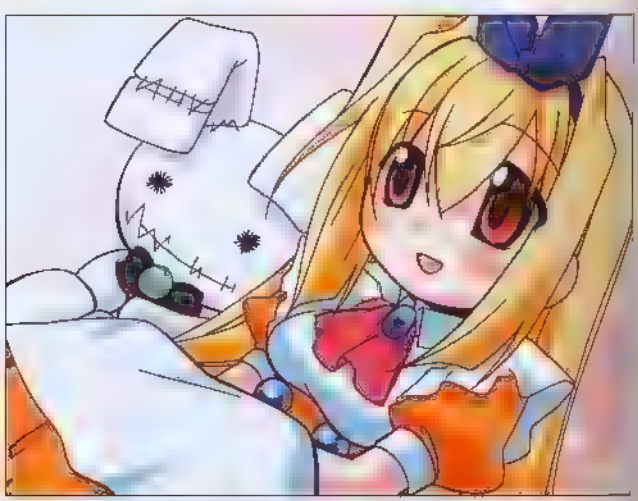
DATA

不明な部分は多いが、日常生活では温和な性格。
アリス能力発動時は驚異的な戦闘力を誇り、冷酷な戦闘マシンと化す。アリスマスターとの関係も不明。
通称【始まりのアリス】頂点にして最強のアリス能力者。
その他、データー切不明。

Character Design By 介錯 Kaisyaku

カギうさ探訪記

「あら、カギうささん、お久しぶりですね」
レディ、ご無沙汰です。どうですか最近？
「いえ、私は変わりありませんわ。ただ…」
ああ、最近は血気盛んな新入りが多いですからね。気苦労が絶えないってわけですな。
「…カギうささんは、他の鍵姫たちとも仲が良いわけですが…」
そうね。最近は俺も丸くなったのか、みんなと仲良くやるようになりましたね。
昔はミステリアスなキャラクターで尖ってた頃もあったんですよ。でも、今までの過ぎ去りし日々のフワフワ系ですよ。
「そんなに仲良くなりますと、後で辛くはありませんか？」
いやー、もう何十年、いや何百年、あれ？何千年だったっけな？　まあ、長いことやって来たことなんで。
馴れたと言えば嘘になりますけど、しょうがないですからね。
「そう、しょうがないこと。私は、集まった物語を糾り取るだけ…」
レディも辛い所ですね。
「馴れたと言えば嘘になりますけど…あ…フフフ」
ノフ、同じことを言っていますね。
ま、気楽に行きましょう。今回こそは良い目が出そうな気がしますし。
「ええ、私も…」
永い永い……永久のアリスの物語に結末が生まれる。そんな気がするんですよ。
「その結末がハッピーエンドであれば言うことなしなんですけどね…」
それに立ち会うのは、多分あなたですから。一つ彼女たちを男、いや女にしてやってくださいな！
「保証は出来ませんけど…」
いやいや、いい風が吹いてきたぜ～。
「えーと、室内なんですけど…」



今回掲載された介錯先生のキャラクターピンナップをテレホンカードにした【限定通販】を実施中
詳細は　http://axia-info.com/　にアクセス!!

暁あかね
Akane Akatsuki

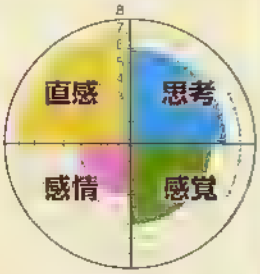
PROFILE

名前　：暁あかね
鍵　：紅蓮の鍵
基本能力：炎を操る
特殊能力：マッチの炎を使い
想像を自由に具現化する

能力値

STR ：1
INT ：3
DEX ：3
CON ：3
CHA ：8
KEY ：8

心の力



DATA

性格破綻者。炎の儚さに魅入られた少女。なんでも燃やすし、なんでも食べる。
具現使役タイプの鍵姫で、能力は最高ランク。しかし非常に不安定。想像を具現化できるマッチは本数・時間制限あり。知識は低いが想像力は高い、という矛盾を内包している。

カキうさ探訪記

なんか、この辺焦げ臭くないかん？
やや、女の子が倒れてるぜ!?
よお、行キ倒れさん。パンでも食うかっ？
「ハッ ガツガツガツガツ ー」
気持ちのいい食べっぷりだね。まあ、落ち着いて食いな。小麦粉は大地の恵みってな
って、ギャーッ！ 俺は食べ物じゃねえ！ なぜ、耳をかじりやがりますかっ！
「うるさい、ウサギ 。"綺麗"にしちゃおうかな 」
なんでマッチに火を点けるですかっ!?
「暖かくて、綺麗になるよ 」
勘弁!! まだ俺の不思議の空間の旅は終わっちゃいないんだからよ。
「綺麗になれるのに……」
自分の価値観を押しつけるだけじゃ、イイ女になれないぜ。人に寛容であれってね。
「旅が終わったら綺麗になってくれる ？」
そん時はそん時だな。この旅の終わりに何が待っているのかなんて、誰にもわからないんだからよ。
「 お腹空いた 」
俺の話聞いてないね。んじゃ、カップ焼きそばでも食う？
「焼く ？ 綺麗にしていいの？」
いや、ポットのお湯を入れて3分だから、火はノーサンキュー。
「つまんない ボリボリボリ」
……って、生のまま食うなよ！
「マズい。やっぱり、あなたを綺麗にする」
エキセントリック 成績表にも「人の話を聞いていません」って書かれていたでしょ!?
「それは見ないで綺麗にしていたから 。私のマッチであっちもこっちも全部、綺麗にしちゃうんだ。みんな綺麗になると素敵だよね」
やれやれ、刹那に生きてるね。厭世的でクールな所がまた魅力的。だけど、マッチの火を近づけないでぇっ！ アツッ!!
「綺麗 」

綾瀬アヤ

Aya Ayase

紡錘の鍵

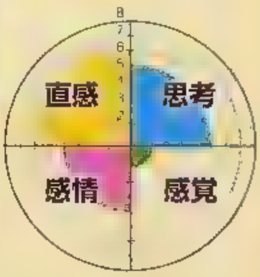
PROFILE

名前　：綾瀬アヤ
　　　：紡錘の鍵
基本能力：糸使い
特殊能力：糸で作成した様々な擬似生命体を操る

能力値

STR	1
INT	8
DEX	7
CON	4
CHA	4
KEY	3

心の力



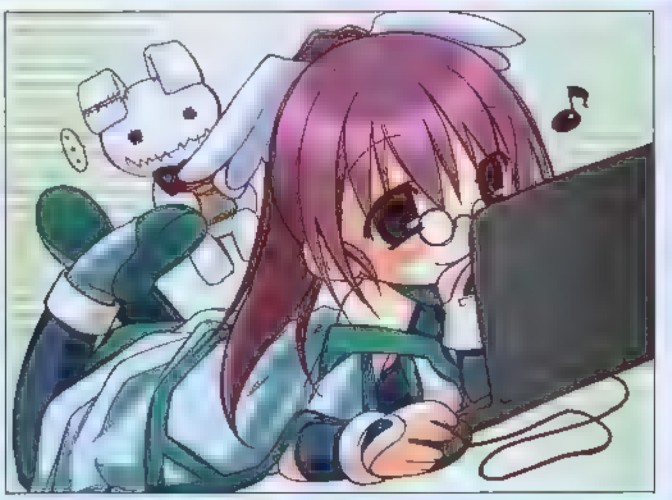
DATA

ネットゲーム大好き娘。怠け者で楽をするためにいろいろ悪知恵を絞り、手段を講じることに熱中する。
間接攻撃タイプの鍵姫で、リール型の鍵から発射する糸を思念波で操る。遠距離攻撃やトラップ攻撃を得意とする。
本人は動かずに相手を倒すための様々な手段を持っている。

Character Design By ムラナコ Muranako

カギうさ探訪記

おーい、アヤ。……アヤってば！
「むひひ。PK、PK！」
……この人、俺の声聞こえてないね。
「なあに？　聞こえてるわよ。今、いい所なんだから邪魔しないでくれる？」
なあアヤ、こっちの世界にまでパソコンを持ち込んで、オンラインRPGに興じるというのは、いかがなものか？
「ああ、現実の方では、家族がうるさいから、こっちでプレイしてるの」
そりゃ、ご熱心なことで……。
「この手のゲームはね、少しでもプレイを止めると、その間に差をつけられちゃうのよ。経験値、経験値……と。おっと、メッセンジャーに通信が。ダンス、ダンス……と」
ネット遊びって、大変そうだな……。
ちょっと落ち着いて、お茶でもしないかね？
「だから、いい所なんだって言ってるじゃない」
和三盆のいいお菓子が入ったんで、持ってきたんだよ。
「へー、気が利くんだ。だったら、付き合ってあげようかな」
そうそう、ゲームばっかりしてると、ゲーム脳になるよ。
「なるわけないじゃない。根拠のない話。あなた、結構アホなのね」
ぐっ……軽いネタのつもりなのに、辛辣！
「あら、これ美味しいわね」
そりゃあ、徳島名産のいい砂糖を使って……って、あれ？　俺の体が勝手に動いて……なぜかパソコンに……!?
この操り糸のせいか!?
「うん、私が休憩している間、カギうさくんが操作しててね。もぐもぐ」
「そう、私は操り糸使い。「心の鍵」の力って便利よねえ。もぐもぐ」
うわーっ、体が勝手に16連打ダダダ!!



高塔地チサ

古塔の鍵（リ・タワー）

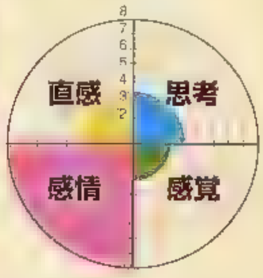
PROFILE

名前　：高塔地チサ
鍵　　：古塔の鍵
基本能力：物理攻撃を完全遮断する盾を生み出す
特殊能力：髪の毛を自在に操る

能力値

STR	3
INT	6
DEX	5
CON	8
CHA	7
KEY	1

心の力



DATA

監禁に近い生活を強いられてきた箱入り娘。性格は内気で世間知らず。対人関係に免疫が無いため、話すのも苦手。
鍵姫の能力発動により外界を知り、塔をモチーフにした完全防御の盾と槍のような鍵を操る。その他にも美しく伸びた髪を自在に操ることもできる。遠距離戦闘タイプの鍵姫

Character Design By
蘭宮 涼
Ryo Ramiya

カギうさ探訪記

塔に囚われの鍵姫か。

どうれ、ご挨拶しておこうかな。よろしくしようと。

「まあ、どなたでしょうか？」

そんなに怯えないでくださいな。俺は鍵うさのジャッキー。放浪者（エトランゼ）と呼んでいただいて結構。

「エトランゼさんは……殿方ですの？」

えーと、一応そういうキャラ作りをしていますが……。

「私、殿方とお話するの……初めてです」

そうですか、では触ってみますか？ ウール100%ですよ。

「えーと、それは遠慮しておきます……」

そりゃ残念。ところでどうして、こんな所に一人でいるんだい？

「……私はここを出てはいけないと言いつけられているんです」

他には誰もいないようだけど。

「ええ、ですが、そういう気がしてならないのです」

心身共に囚われのお姫様か。そりゃ難儀だね。

じゃあいつになったら、ここを出れるんだい？

「わかりません。でも、きっといつか、素敵な殿方が現れて、ここから連れ出してくれるのだと信じています」

俺、俺。

「え？ エトランゼさんがどうか、しましたの？」

俺、俺。素敵な殿方。

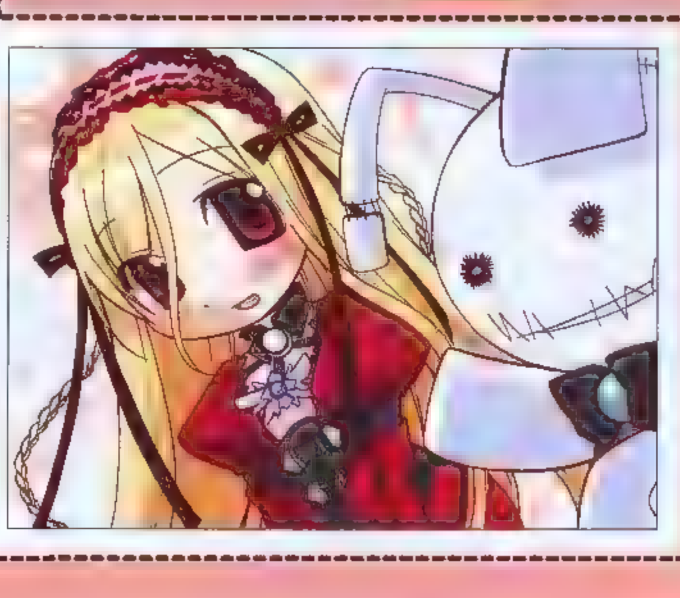
「うふふ、素敵な殿方というのは、ウール100%で出来ている方ではありませんのよ」

まあ、そうでございますか……。

「楽しいエトランゼさん」

俺は男扱いされていないのね。とほほ……。

「夢に見たあなたが、迎えに来てくれることを信じています。いつまでも、いつまでも、チサはお待ちしております……」



悠里ちゆり
Chiyuri Yuuri

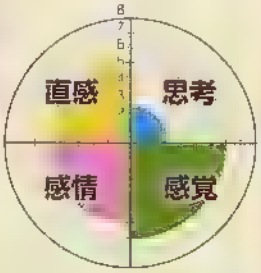
PROFILE

名前　：悠里ちゆり
鍵　：小さな花の鍵
基本能力：小さくなる
特殊能力：昆虫・小動物との意思疎通
（実際は操ることもできる）

能力値

STR ：4
INT ：7
DEX ：8
CON ：1
CHA ：6
KEY ：6

心の力



DATA

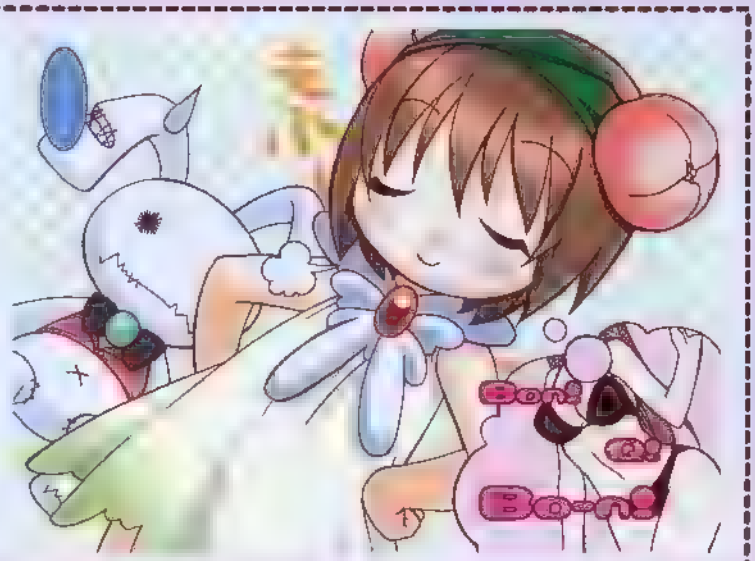
ちゆりは確認された鍵姫としては最年少の5歳。幼稚園児天真爛漫、正義感が強い。
ペットのツバメ「スワロウ」は変身時のパートナーでもあり、召喚使役タイプの鍵姫といえる。若すぎるために心の力が成熟していないので、鍵姫としての能力はまだ未発達。

小さな花の鍵

Character Design By
あづまゆき Azuma Yuki

カキつさ探訪記

うーん、俺も小さいけど、あんたも大分小さいんだな？ 10センチぐらい？
「センチってなあに？」
おっといけねえ、ちゆりはまだ5歳だったっけな。
「うん、ちゆりはもう5歳。幼稚園の年長組さんのおねえさんなんだよ。おねえさんだからボン、キュッ、ボーン！　セクシーダイナマイツだねっ！」
まだ20年ぐらい先かな。
ま、夢がでっかいことはいいことだ。そのストーンとしたスタイルの方が好きだって読者も多そうだしなー。で、幼稚園って所はどうよ？
「男の子たちがね、みんなお子様でいやんなっちゃう！　おトイレのぞいたり、スカートめくったり、タッチしてきたり、もう本当に大人げないんだよ」
フフ、それを許さないのが女の罪ってな。ま、男ってのは、女の前ではいつまでも子供でいたいものだからな。ちゆりもそれがわかるイイ女になるこった。
「だからね、いつも、こらしめてやるの。男子を泣かせちゃえるのはちゆりだけなんだよ」
くわばらくわばら。でも、その正義感はイキだね。
「うん、ちゆりはね、大人になったら正義のヒロインになるんだ」
テレビでやってるみたいな、あれだな。
「うん、悪者をバンバンやっつけちゃうんだ！　そしたらみんな　ニコニコだよね」
いいねー　汚れちまった俺たちにゃ、なかなか言える台詞じゃないぜ。
「ふぇ？　。いっぱいお話したら、疲れちゃったね」
じゃあ、お嬢さん、俺のおすすめのカフェーでティ　タイムと参りましょうか。
「かふぇー？　牛乳飲んでもいい？」
おう、どんどん大きくなれー
「ひゃあ、もっとボン、キュッ、ボーンになっちゃうよ」
いや、それはない。



双葉フウカ

Fu-ka Futaba

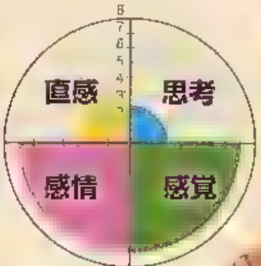
PROFILE

名前　：双葉フウカ
鍵　：双子の鍵
基本能力：二刀流。2種の能力を持つ。
特殊能力：鍵を合体させるWセイバー。
未知数

能力値

STR ：2
INT ：3
DEX ：7
CON ：3
CHA ：2
KEY ：6

心の力



DATA

双子の兄を探す少女。かばんには理想の家族のフィギュア(お菓子の部屋で暮らしている)が詰まっている。鍵姫界でもめずらしい　つ存在する鍵を操り、攻撃用の兄の鍵＝エンジェル。防御用の妹の鍵＝グレイテッド。合わせて「双子の鍵」となる。能力が高すぎて扱いきれていない。

カギうさ探訪記

そうかい、生き別れのお兄さんを探しているのか　。

「はい。兄も、こっちの世界に来ているような気がするんです」

どうして、そう言い切れるんだい？

「双子だからわかるんです　」

お兄さんのことを愛しているんだね。

「ええ、とっても。　・顔も声も覚えていませんが　」

あらら。そんなんで探せるのかね？

「大丈夫です！　双子だからわかるんです・　私のお兄ちゃんだから　こう、超絶美形で超スポーツマンで、超優しい人……そうそれ、そんな人。決定　」

決定って、それ　・君の理想の男の話なんじゃないの？

「私のお兄ちゃん　超イケメン……ですが、なにか？」

いえ、どうぞ、続けてください　。

「お兄ちゃんはとてもお寝坊さんなんです」

そりゃ、ダメ兄貴だなぁ　。

「ええ、ですから、毎朝、私が起こしてあげるんです。それで寝ぼけたお兄ちゃんにキスされたりして……もうっー」

。

「そして、お兄ちゃんってこんなに素敵なのに、どうして彼女が出来ないのかなぁ？って思っていたら、いつも私がそばにいるから、学校の女の子たちが声をかけにくかったんだって気付くんです」

。

、　で、落ち込んじゃった私を慰めてくれるのもお兄ちゃんなんです。泣かせちゃってごめんよ、今日は一緒に寝ようね　って言ってくれるんですよ。キャーー　お兄ちゃん萌えーっ!!」

あ、いや。人の夢を壊すつもりはないけど。そんなお兄ちゃんいるのかなぁ……。

「だから私は旅を続けているんです。きっとどこかに、そんなお兄ちゃんがいるんですよ」

それは壮大な旅になりそうだなぁ　。

ジャック・ジャクリーン

Jack Jacqueline

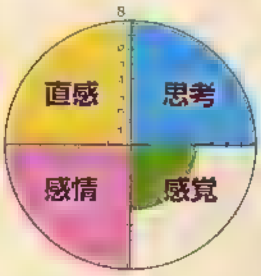
PROFILE

名前　：ジャック・ジャクリーン
■　：棘の鍵
基本能力：樹木を操る。ムチ使い
特殊能力：回復能力。キズが治せる

能力値

STR：7
INT：2
DEX：7
CON：6
CHA：5
KEY：7

心の力



DATA

名門ジャック家のお嬢さま。ネコかぶりの小悪魔むすめ。メイド隊を引き連れている。鍵姫としての能力はほぼ完成されており、直接攻撃タイプの女王様となる。
鍵がムチになる特殊なモノで、遠近距離可能なオールラウンダー。ムチから滴る樹液で体の傷を治すことができる。

Character Design By 高木信孝 Nobuyuki Takagi

カギうさ探訪記

「まあ、かわいいうさぎさんね」
おっと、俺のかわいらしさがわかるなんて、あんた見る目があるね。
「うふふ、紅茶でもいかがかしら？」
いただきましょう。
「いやしかし、素敵なテラスだね。それにティーセットも一流品で素敵だ」
「うふふ、それがわかるあなたも素敵よ」
違いのわかるうさぎ。そう呼んでいただけますか？
「ジョークもお得意なのね」
ヒューモアは人生の清涼剤。笑いなくして人は生きていけませんよ、レディ。
「うふふ」
そんな君の笑顔に乾杯。
「紅茶ですけど。うふふ」
それにしても、これだけ物を揃えるのは大変だったでしょう。苦労がにじみ出てる。
「えっ　苦労？」
これみよがしに高価な品が敷き詰められていますなあ。
「――!?」
物への感情って伝わるんですな。かつて、裕福になるために苦労し、集め堪え忍んだ、そして手に入れた喜びが伝わってきますよ。
「な　な　!?」
いや、羨ましい。あ、紅茶のおかわりいただけますか　あね。
「なんですって…!?」
な、なんで変身しやがりますか？
「こんな通りすがりの、うす汚れたウサギに何がわかるって言うんですのっ!?」
ビシイッ！　バシイッ！
ひぃいっ！　なんで鞭でしばきやがりますかっ!?
「やっと辿り着いた優雅な毎日。私の苦労がどれ程のものだったか、お前のようなヤクザ者にどうこう言われる筋合いはございませんわっ！」
ビシイッ！　バシイッ!!　ズバアッ!!
あひぃ～　女王様堪忍～～！
「このっ！　このっ！　このっー」
もっと～～～ー

鷹野カノン

悠弓の鍵

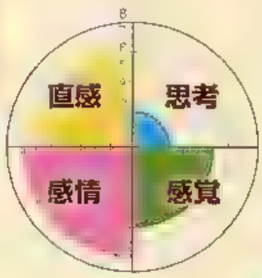
PROFILE

名前　：鷹野カノン
■　：悠弓の鍵
基本能力：弓使い
特殊能力：特殊能力を付加した弓矢での攻撃

能力値

STR	5
INT	1
DEX	7
CON	5
CHA	7
KEY	4

心の力



DATA

鷹の瞳と砲撃（カノン）の名前を持つ元気娘。バカっ娘。
矢の様なまっすぐな性格と明るさを持つスポーツ娘で好物はリンゴ。ペットにリスの「テル吉」を飼う。
数少ない完全遠距離戦闘タイプの鍵姫。弓矢の種類は自動追尾、爆裂の矢、煙幕の矢、漆黒の矢（影矢）などなど。

Character Design By
有子瑶一
Yohichi Ariko

カギうさ旅話記

ドス、ドスッ！
ギャーッ!?　俺を狙うこの矢は何？　誰っ!?
「あれ、鍵うさ君じゃない？　ごめんごめん、人喰いグリズリーの出現かと思って、矢を放っちゃったよ。てへっ」
「[illegible]じゃないですヨー　コンチクショー！　2、3本突き刺さってやがりますよ…」
「鍵うさ君がぬいぐるみで良かったよ」
ホントだねー　ってバカー　俺じゃなかったら死んでたぜ！
「ごめんね。フーフーしてあげようか？」
その甘い誘惑は魅力的だが、結構。もう治ったから。
「すごい回復力……」
そうでなきゃ、鍵姫たちと付き合ってられないからね。俺も打たれ強くなったよ。で、人喰いグリズリーがなんだって？
「うん、他にも人喰いパンダや、人喰いエリマキトカゲが出没しているらしいから。私が退治するんだ」
そりゃ物騒だね。しかし、メルヴェイユスベースにそんなのいたかな　。
「鍵うさ君がいるんだから、否定出来ないよねー」
そうだね　って、俺を人喰い動物と一緒にしないでくれー
「鍵うさ君は人を襲わないの？」
とか言って、弓を向けるのやめてもらえないでしょうか……？
「うん　試し打ち　」
こらこら、善良な読者ちゃんたちが真似したら危ないでしょ。玩具の説明書にも、ミサイルは人に向けて打っちゃいけませんって書いてあるでしょ。
「んー、練習しておかないと、いざって時に上手く使えないもんねー」
や・め・て！
「あ、手が滑った　」
ドスッ!!
眉間にヒット　大当たり。君、練習する必要ないですよ……。

ロリーナ・リリーナ

Lorii

白雪の鍵（スノー・ホワイト）

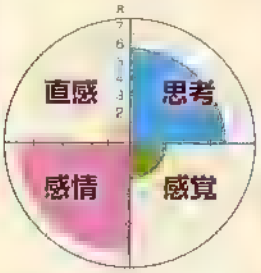
PROFILE

名前　：ロリーナ・リリーナ
鍵　　：白雪の鍵
基本能力：雪を操り、冷却を得意とする
特殊能力：7つの武器が収納された鍵を使用

能力値

STR ：2
INT ：7
DEX ：3
CON ：5
CHA ：6
KEY ：8

心の力



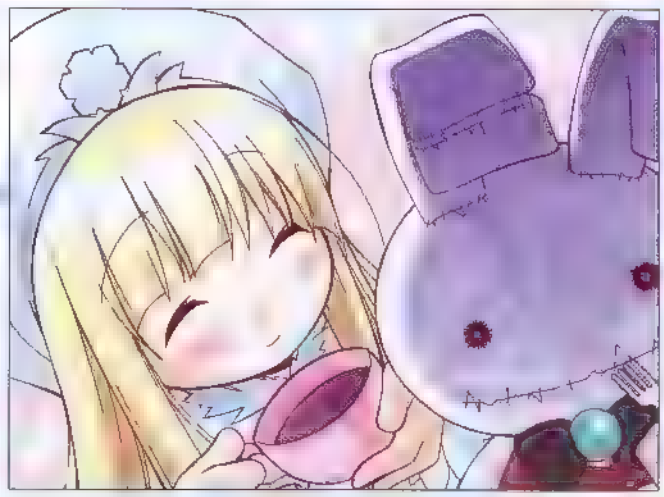
DATA

雪の美しさと冷たさを持った美少女。天然でつかみ所の無い穏やかな性格で、露木キノカの海外留学時の親友でもある。
7つの武器での多彩な技と絶対零度の攻撃により最強の鍵姫の一人と言われていが、彼女はキリカ留学中に死亡したとされている…　まだ隠された能力があるのかもしれない。

Character Design By
おーじ
O-ji

うさぎ物語

「うさぎさん、美味しい苺りんごはいかが？」
いただきましょう。うん、美味いね。
「まあ、毒だと言っているのに食べてしまわれましたわ」
命を賭けるぐらいじゃないと、至高の味には辿り着けないってわけですよ、ロリーナ・リリーナお嬢さん。
「まあ、博識なうさぎさん。私のことを知っているのね」
絶対零度の雪を自在に操る、最強と名高い鍵姫。
「うふふ」
なんて、かたっ苦しい挨拶は、なしといきましょうよ、レディ。
「話のわかる人って好きよ。今日の出会いを祝して、お茶をいれましょう。毒アップルパイを焼きましたのよ」
ん、いけるね。舌がピリピリする！　刺激的！
「喜んでもらえて光栄ですわ」
レディ、でもこういうことを続けているとお友達をなくしますよ？
「ご忠告ありがとう。でも、心配ご無用なんですよ」
へえ、そりゃまた、どうして？
「私、お友達なんていりませんの」
なんちゃって　お友達がいなくなっちゃうなんて、寂しくて、耐えられませんわぁ～」
AHAHA　冗談がお好きなお人だ。
「うふふ、うさぎさん、私たちはもうお友達かしら？」
勿論。こんな素敵なレディとお近づきになれて、俺は幸せですよ。
「お世辞が上手な人、どうやって殺しちゃおうかしら？　うふふ」
くわばら、くわばら。でもこの危険な魅力　クセになるぜ。
「毒紅茶のおかわりは？」
あ、いただきます。



大神みか
Mika O-gami

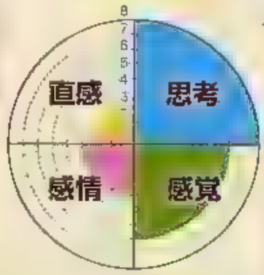
PROFILE

名前　：**大神みか**
鍵　　：迷狼の鍵
基本能力：合体攻撃。狼を身にまとって狼少女になる
特殊能力：分身攻撃
　　　　　犬系の動物との意思疎通ができる

能力値

STR	8
INT	7
DEX	8
CON	1
CHA	1
KEY	2

心の力



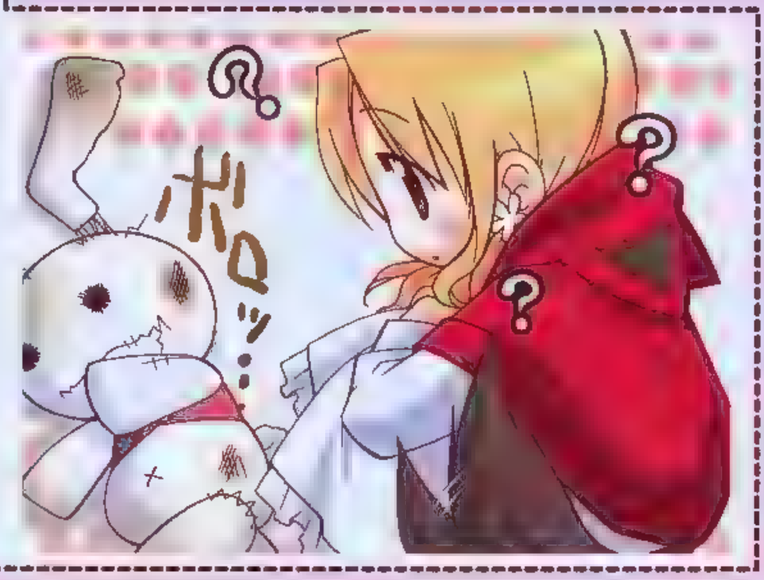
DATA

純粋無垢。処女性の象徴的なキャラ。男性が苦手で貞操観念が強い。内気。パートナーとして犬（狼）の「フード」を飼っている。
召喚使役タイプの鍵姫で、フードが彼女を覆い、そのフードが戦闘を請け負う。鍵姫になった段階で性格が狼化し、暴虐になる。

カギうさ探訪記

やあレディ、こんにちは。どちらへご用かな？
「フードとお散歩なんですよ」
フード？……その犬かい？
「わんわん！」
犬はいい。主人に忠実で、何より利口だ。
「ええ、彼はとてもお利口で、私を悪い人たちから守ってくれるんですよ」
今の世の中、女の子には物騒だからね。君みたいなキュートなレディはトラブルが絶えないだろうね。
「下駄箱のラブレターに、突然の告白……」
それにストーカーの無言電話や盗聴器とかね。みんな君に夢中さ。
「うふふ、お上手なウサギさんなのね」
口から生まれたって、もっぱらの評判の俺さ。いやさ、男子たるもの常に紳士でありたいね。
「……嘘……」
え？
「嘘ばっかし……」

おや、どうしたんだい？　君に涙は似合わないよ。って、ギャア！　なぜ、この犬は俺に噛み付きやがりますかっ！
「ガルルルル！」
……こいつ犬じゃない。狼だっ!?　イタイ！
「男はみんな嘘つき！　あなたも私を騙して酷いことをするつもりなのよ！　検閲にひっかかるような酷いことをして、ボロ雑巾のようになった私を人買いに二束三文で売り飛ばして、そしてそれをワイン片手に笑っていられるような、そう、あなたはそんなうさぎ！」
検閲って何!?　俺はジェントルメンだぜ!?
「男は狼なのよ!!」
ああ　オーラが黒い。人が変わってるっ!?　乙女心は春の空ぅ　揺れ動く女心はかくも複雑なのね！　ためになるぅ～～！
「…………あら？」
「わんわん」
「どうして、こんな所にボロボロのぬいぐるみが落ちているのかしら？」
そりゃないぜ、レディ。



御子柴ミコ

猫靴の鍵（キャット・ザ・ソロ）

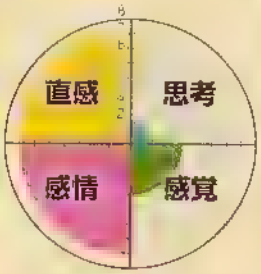
PROFILE

名前　：御子柴ミコ
鍵　：猫靴の鍵
基本能力：剣術
特殊能力：完全にネコ娘化し、
身体能力などがUPする。

能力値

STR ：4
INT ：3
DEX ：8
CON ：1
CHA ：3
KEY ：6

心の力



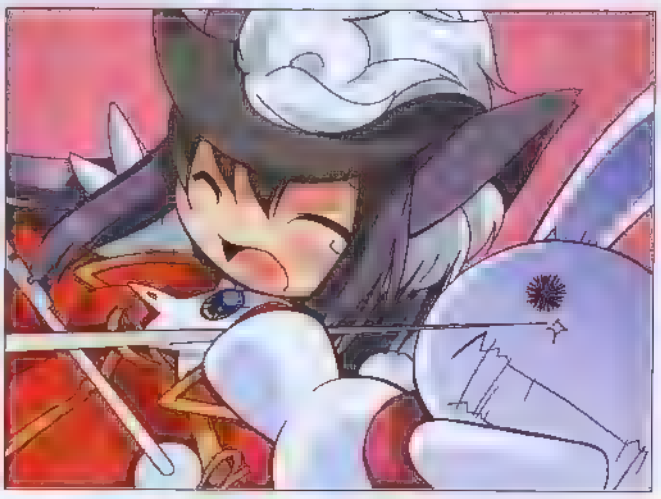
DATA

お家が神社の巫女お姉さん　西洋文化に憧れを抱いている。
鍵姫時は偉大なる猫騎士【ケット・シー】の霊が憑依し、彼女の身体能力を最大限に引き出すことが出来る。当然、鍵姫の中でもトップクラスの剣技の使い手である。
ただし、猫の弱点もそのまま具現化することになる。

Character Design By
田中松太郎
Shoutarou Tanaka

ウサギうさ探訪記

こんな所に神社が？
ま。毎日様子が変わるのがメルヴェイユ・スペースの面白い所なんだけどね。
こんにちはお嬢さん。こちらの巫女さんですか？
「きゃっ　ウサ　じゃなくて……何？」
いや、何じゃなくて、これでも可愛いウサギなんですが……。ふわふわ系ですよ。
「それは失礼しました。ちょっと、そうは見えなかったもので」
ハハハ、よく言われます。
「今日はご参拝ですか？」
んー、そうね。何気に寄っただけなんだけど、たまには八百万の神様に挨拶しておくのもいいかもね。
「とても良いことだと思います。では、私がご案内を――」
これはこれはご丁寧に。
でも　なんで、まうきで俺と距離を取ろうとしてるわけ？
「あ　そんな風に見えます？」
鑑賞に。
「私、動物が大好きなんですけど――とても、そんな態度に見えないヨー……その、アレルギーで……」
ははぁ、そりゃ難儀だねぇ。好きな物に近づけないその苦しみ。
でも、俺はぬいぐるみ的な男だから、大丈夫なんじゃないかい？
ぽち触ってごらん、ウールだよ、
「きゃあーっ　寄らないでー」
だから、大丈夫だって。ほれほれ。
「いやあ――っ!!」
おおっ!?　ピカッと変身した！
「近づかないで――っ!!」
ギャアーッ　凄まじい剣さばき!?
その力――キャット・ザ・ソロの鍵姫か？
動物嫌いって言ってたじゃないか？
ズバズバズバーッと、あれーっ
はぁはぁ。あれ？　ウサギさんは？」
お　俺は、細切れになりました　。



今回掲載された田中松太郎先生のキャラクターをテレホンカードにした【限定通販】を実施中!!
詳細は　http://axia-info.com/　にアクセス!!

萌木原モユ

Moyu Moegihara

傀儡の鍵

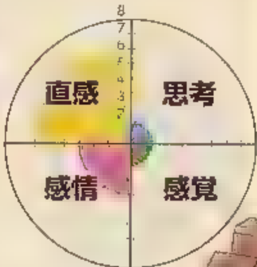
PROFILE

名前　：萌木原モユ
鍵　　：傀儡の鍵
基本能力：人形を操る
特殊能力：自分自身も人形になる

能力値

STR	3
INT	7
DEX	7
CON	1
CHA	6
KEY	3

心の力



DATA

人形好き内気少女。常に眠り目人形の「ピノ」を持ち歩く。

人形を操る召喚使役タイプの鍵姫。鍵姫変身後、モユは思考停止し意思が無くなる。すべては人形のピノが命令指示を出す。人形は性格も口も悪い。糸の切れた吊り手（コントローラー）で、他の人形やぬいぐるみなどを操る。

Character Design By さあぺんと SIRPENT

カギうさ探訪記

こんにちはかわいいお嬢さん。

「……えーと」

おや、しゃべるウサギが珍しいかい？

「あの、その……」

どうやら恥ずかしがり屋さんのようだね。それはそれで良か良か、良かよー

「えと……」

恥じ知らずな若人が増えた昨今。逆に、君みたいに控えめなレディの方がチャーミングってもんだよ。大体、今時の若いモンときたら「俺が俺が」とオレイズムの押し売り。人との相互理解なくして、自分は存在し得ないのにね。

「……」

なんつって　失敬。説教っぽかったかね？

「……カーッ！　ペラペラとうるさいウサギ野郎だな!!」

ぎゃっ、人形がしゃべった!?

『しゃべるウサギ野郎に、驚かれたくはないわな』

それもそうか……って何ぃ　それ腹話術かなんか？

『どっちだって言いだろ？　野郎にあれこれ聞かれるのは嫌いなんだよ。ま、女に詮索されるのはもっと嫌いだけどな。ペッ』

人形のくせに道にツバを吐くなよなあ。

『るせえー　ぬいぐるみ野郎ー　とっととうせな』

へえへえ。そう言うんでしたら、ドロンさせてもらいますよ。

ん？……あー

「……もう、行っちゃうの……？」

え？　だってあんたが行けって。

『とっとと行け、ボロギレ野郎！』

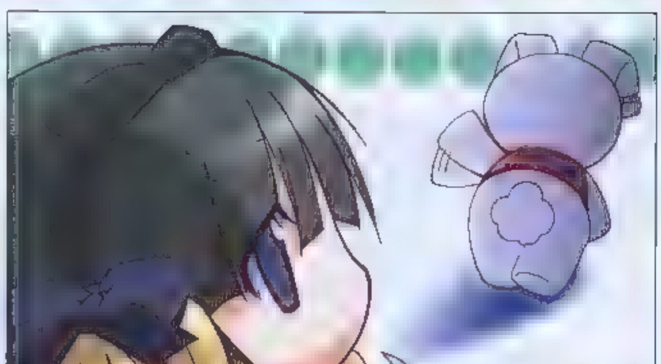
「……もっと、お話……したいな……」

うへえ、どっちなんだよぉ？

「……また、会える？」

『二度と顔を見せるな、綿詰め野郎ー』

くわばらくわばら、乙女心は空模様。レディの本心を見抜くのは至難の技ですなぁ。



斬崎リサ

Risa Kirisaki

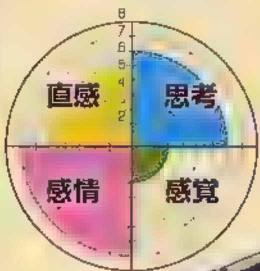
PROFILE

名前　：斬崎リサ
鍵　　：死出の鍵
基本能力：影響範囲内の敵を減命化する
特殊能力：魂の蝋燭を操り、対象の鍵能力を封じる

能力値

STR：3
INT：7
DEX：5
CON：4
CHA：5
KEY：8

心の力

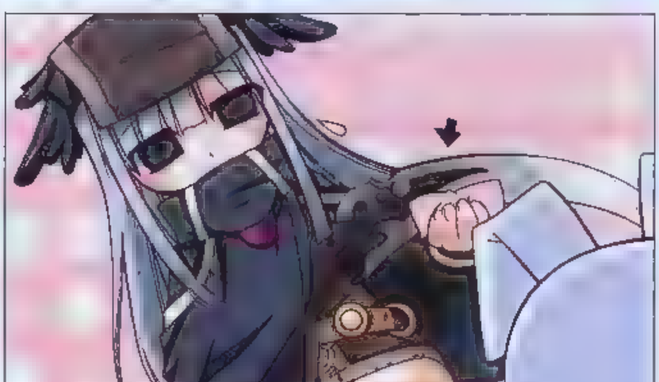


DATA

整った顔立ちの割に無印象。表情、感情の起伏が極端に乏しい美少女。性格は素直で律儀、義理高いが、裏切り行為に対しては唯一の感情を表す場合もある。
範囲影響タイプの鍵姫で、このタイプは総じて能力が高い。有効射程距離の生命体の活動を減少化させ、老化させる。

カギうさ探訪記

る～♪　君の兄弟　カギうさだ～　東京ミュ　ケーション♪（鼻歌）
「　あの、カギうささん」
おっと失礼、気づかず通り過ぎてしまったよ、リサ。
「私　影が薄いですから　」
そう言いなさるな。今どき控えめな所が魅力じゃないか。しとやかな美人はなかなかいないよ。
「そんな・　ありがとうございます。でも、いつまでも消極的な自分で良いものか　」
うーん、確かに。鍵姫も増えてくると、進んで前へ前へ出ないことには、印象が薄くなってしまうよなあ。
「次期メンバーの参入に怯える、アイドルグループ気分です……」
ああ、なんとかプロジェクトとかだな。そうだよな。人気商売の難しい所だね……って、君、メタなこと考え過ぎ！
「現実と空想の境界を証明することは出来ません。今、こうしてメルヴェイユ・スペースにいる自分が、果たして現実の物なのかどうか？」
むむ、難しいことを考えてるのね。
「　朝、起きて、学校に行って　帰って来る。そんな、現実だと思っている世界こそが、あるいは空想なのかもしれません」
ん、学校……楽しくないのか？
「そ、そんな風に聞こえますか　？」
そんな風に聞こえる。
「みんなに、私の存在を証明するためには、どうしたら良いのでしょうか？」
つまりリサは、人恋しいわけだ。
「……えーと……はい」
ハハハ、俺は今のままのリサが愛おしいぜ。無理なキャラクター作りは失敗の元だ。
「　そうですね。自分で自分を否定していては、存在しないも同じですね　」
そ、まず自分を好きにならないとな。
「　、はい！」
とか言いながら、その　死神のカマを磨いでるのがイカンのだと思うが……。
「ウフフ……」



八木島シマコ

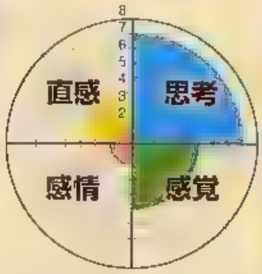
PROFILE

名前　：八木島シマコ
鍵　　：七羊の鍵
基本能力：6種の隠し武器を操る。
特殊能力：7つ目の武器、解放されたハサミは次元を切り裂く。

能力値

STR ：8
INT ：6
DEX ：1
CON ：5
CHA ：1
KEY ：7

心の力



DATA

普段は愛想の無い女性で、物事をハッキリ言う。
変身後は母性愛が目覚めた聖女の側面と、残虐性が同居する不可思議な女性となる。ツンデレキャラらしい。
七匹の山羊。と呼ばれる術法を持つ能力多彩な鍵姫。
個々の能力は低いが、その多様性が彼女の身上である。

カギうさ探訪記

「おい」
はい？　おや、お見受けした所、鍵姫のような？
「見かけないウサ　いや、ウサギなのか？　まあいい。見かけない奴だな」
フフ、この世界で俺を知らないということは、君新入りだね？
「それがどうした。先輩面される言われはないぞ」
いや、ごもっとも。すぐに先輩風を吹かすのは、俺の悪い癖です。
「自覚しているなら直せばいい。それが出来ないのはだらしない証拠だ」
ズバズバと辛辣なことを言う人ですね。
「遠慮する理由がない」
おお、なんともドライな考え方。COOLだね…どうですか、ちょっとお茶でも？
「行かない」
ぶっ。即答。
「そんなことよりも、お前、「ここ」に詳しいのなら案内しろ。他の鍵姫はどこにいる？」
確かに俺は『案内役』なんだが　。
俺、平和主義者なんだよなぁ。戦い反対。
「それでは鍵姫になった意味がない」
ん、君は力を集めてどうするの？
「決まっている。世界平和のために使う」
おお！
「その後、富と名誉を手に入れ、贅沢を謳歌する」
うぉお　良いこと言っているように見せつつ、自分勝手なだけのような　。
つーか君、欲ばり？　ああ、だから鍵姫能力に目覚めたわけだ。
「人を詮索するな」
へいへい。ごもっともですな。
では、戦いのステージへご案内しましょう。くれぐれもお気をつけて・・。
「言われるまでもない・・」
鍵姫の能力は、心の力。自分を滅ぼし兼ねない、諸刃の剣。
どうか、幸せな結末を迎えることが出来ますように――。

今回掲載された爆天童先生のキャラクターをテレホンカードにした【限定通販】を実施中!!
詳細は　http://axia-info.com/　にアクセス!!

透皇院トウコ

To-ko Toukouin

硝子の鍵

Character Design By
七尾奈留
Naru Nanao

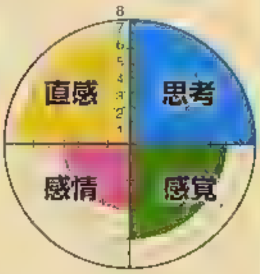
PROFILE

名前　：**透皇院トウコ**
鍵　　：硝子の鍵
基本能力：変身能力（相手の能力に合わせて様々なドレスで戦う）
特殊能力：時間操作

能力値

STR	：2
INT	：8
DEX	：1
CON	：2
CHA	：7
KEY	：8

心の力

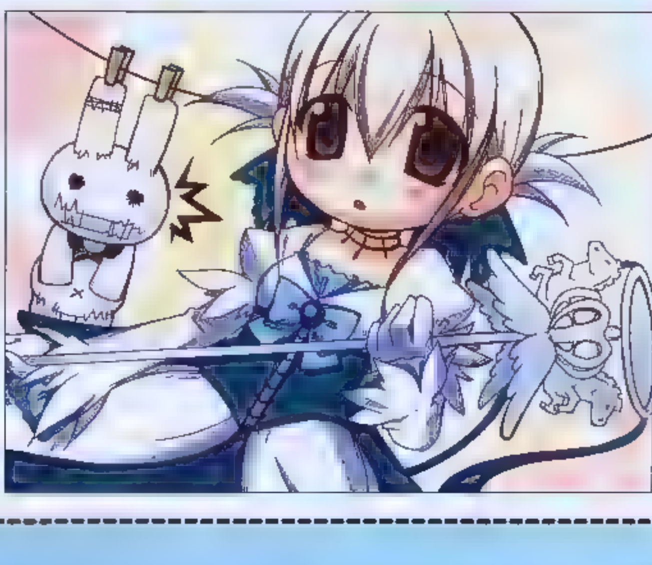


DATA

普段は平凡な女子高生。運の悪いドンなメガネっ娘。
鍵姫になると豪華なドレスとガラスの靴を装備した伝説級のお姫様となり、典雅に振舞う。最強の鍵姫のひとり。
戦闘方法により変化するドレスのほか、鍵姫全員が装備している時計に干渉することで相手の時間を操る能力を持つ。

カギうさ探訪記

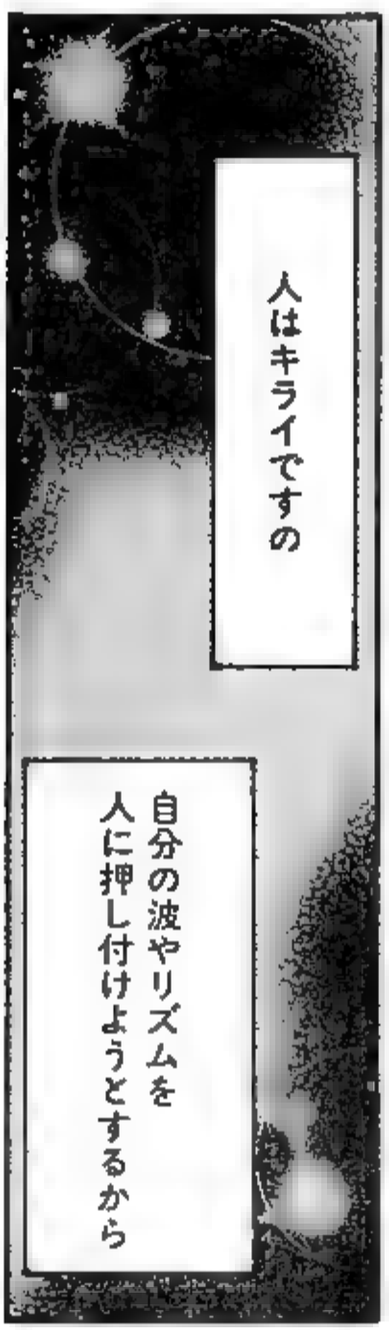
ガチャン！　バシャーン！
うおっ!?　俺、水びたし！
なぜ、こんな所にバケツが!?
「ああっ、うさぎさんごめんなさい！　ここに来る時に、うっかり一緒に持ってきてしまったようで」
ドジっ子かぁ、じゃあしょうがないな。
「ドジっ子　？　なんですかそれ？」
いや、そういうのが好きなのも多いから、大丈夫だ！
「はぁ　？」
ま、気にしないでくれたまえ、レディ。ご覧の通り、俺は搾ればOKだから。
「まあ、ぞうきんみたい　」
いや、ぬいぐるみなんだがね　。
「じゃあ、この物干し竿に吊って、乾かせばいいですね」
「そうそう。筋がいいね」
「家事だけは得意なんですよ。洗濯って大好き」
結構じゃないか。惚れるねぇ。
「……あの。ところで、ここ……どこなんでしょうか？」
ぎゃふん！
「ずっと、何時間も道に迷っていて　」
……なるほど、新入りさんってわけね。ちょっと、その鍵見せてくれる？
「ああ、そういえばいつの間にかこんなアクセサリーが　」
ぎょっ！　硝子の鍵（シンデレラ）!!
「シンデレラ　？」
そうか、君がそうなのか　。（硝子の鍵（シンデレラ）を持つ鍵姫の力は絶大。その力が、この子を翻弄しなければいいけど　）
「どうしたんですか？　うさぎさん」
あ、いや、これから大変だろうけど、頑張っておくれ。
「きゃっ　！」
な、なに　!?
「12時までに戻らないと、終電がなくなっちゃう！」
ぎゃふん!!



介錯 -KAISHAKU-

学校はキライですの
たくさん
人がいるから

人ごみは
キライですの
息をしているのが
苦しくなる気がして…


人はキライですの
自分の波やリズムを
人に押し付けようとするから

ほう。
——でも

存在できない——
人の波は水の流れで
やわらかな波へと
変わるから——
ひとつの波——

きらはちゃんの
波へと――
キサちゃんっ

きらはちゃんの
周りには
きらはちゃんの波が
立ってますの
今度さっ 一緒に
プール行かない？
その波は心地よくて
行きますのっ
私はずっとそこに
ただよっていたいと
思いますの

そのためには
学校や
きらはちゃんの
お兄さんも
誘いますの
人や
そうそう
二人だと
行ってくれない
のよ～～～っ
物事…すべてを
キライだとは
言っていられ
ませんもの

あっ でもっ
きらはのお兄ちゃんは
きらはのお兄ちゃん
なんだから
好きになっちゃ
ダメだよっ

わかって
ますの
きらはちゃんは
本当に
有人(あると)センパイが
大好きですの

〜〜〜〜〜

きらはちゃんは
センパイの事を
考えてる時が
一番かわいいですの…♡

じゃーん
新しい水着だよっ
かわいくて
まぁ
きらはちゃんにとっても似合いそうですの

キサちゃんも新しい水着買ったんだよね
そうですの
きらはちゃんに見てもらいたくて…ですの♡

じゃあさっじゃあさっいっせーので見せっこしようか
見ないように背中合わせで着替えるの
わかりましたわ
見ないように着替えるんですのね

とは言うものの
かわいい
きらはちゃんの
着替えを
覗かないわけには
いきませんの
このしなやかな腕
ぶっくらとした胸……
細くしゅっとした足
すべてが最高ですの
キサちゃん着替え終わった？
はい
じゃあせーので見せ合うよっ

せーの
せっ

なになに
それっ
キサちゃん？
それ すっごく
かわいいっ
ずるーいっ
えっ

わかった!!
それで
お兄ちゃんの
気を引こうって
いうのねっ!!
別に
そういう
わけでは
〜〜〜〜

きらはの
お兄ちゃんの事
好きになっちゃ
いけないって
あれほど言ってる
のに〜〜〜っ
フーッ
フーッ
怒った顔もまた
かわいいですの
……
そうですの

DC
ゆめりあ1/2 ゆきまる バック
原作：ナムコ 企画・構成：株式会社
「ゆめりあ」「此花」ほか読み切り作品を収録した桂遊生丸作品集！
NOW ON SALE!!

次号 コミック電撃帝王
「まったりさん」連載再開！ 田中久仁彦が描く"ゴーイングまったりストーリー"第二話、喝目して待て!!
Vol.3 10月26日発売予定!!

お兄ちゃんっ
遅いよ きらは
買っておいた アイス 溶けちゃったよ
そんなことより… ねぇねぇ
何か気が つかない？
そんな水着 持ってたっけ？
キサちゃんに 貸してもらったの

あ…ああ
よく似合ってて
かわいいよ
やったあ♡
キサちゃんは
私のを着てるん
だけど
どう?
キサちゃんが
きらはの
水着を!?
そりゃあ
きついんじゃ
ぴたっ
ぴたっ
……
……

★介錯先生におたよりを

あて先
〒101-8305
㈱メディアワークス
コミック電撃帝王編集部

鍵姫物語 永久アリス輪舞曲 外伝

◆アリスたちの活躍は大王本誌で!!

おわり ✷電撃帝王vol.3は10月26日発売予定!!✷